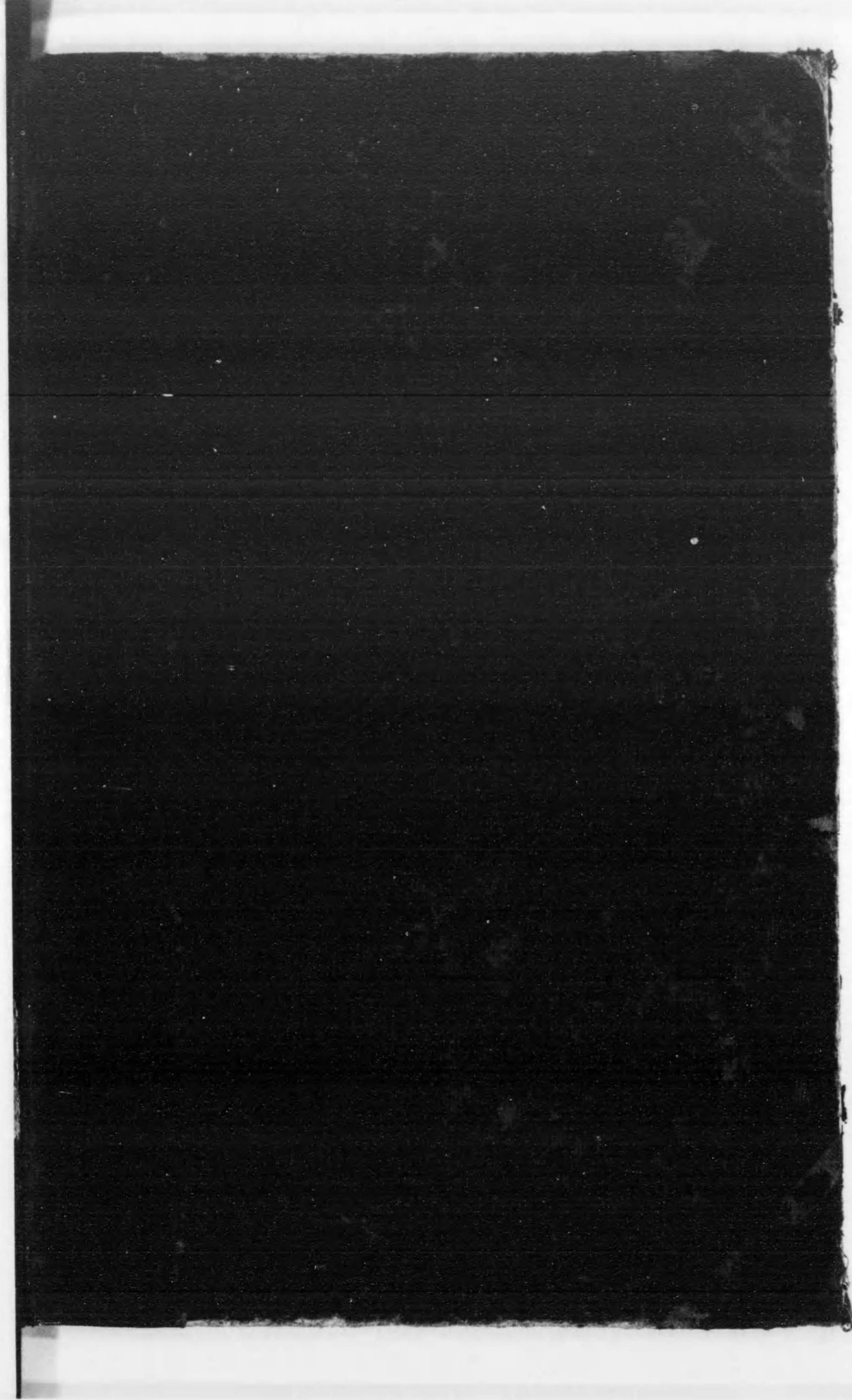
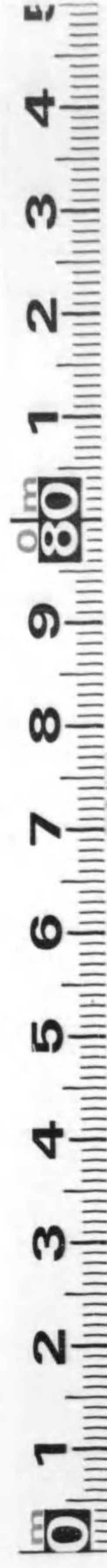


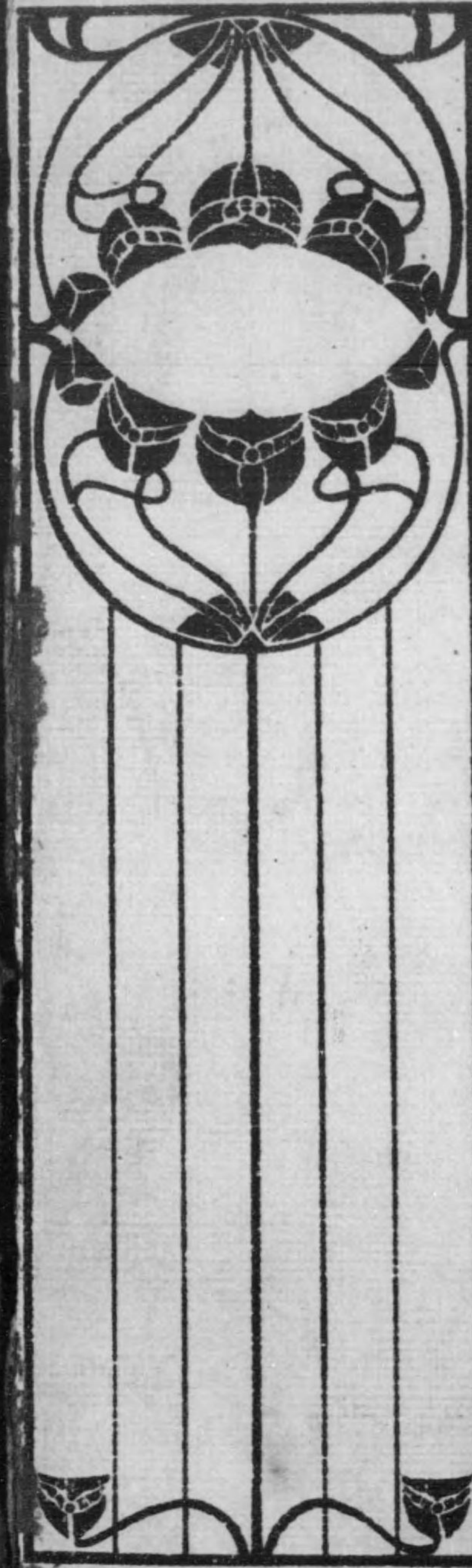
始



323
145

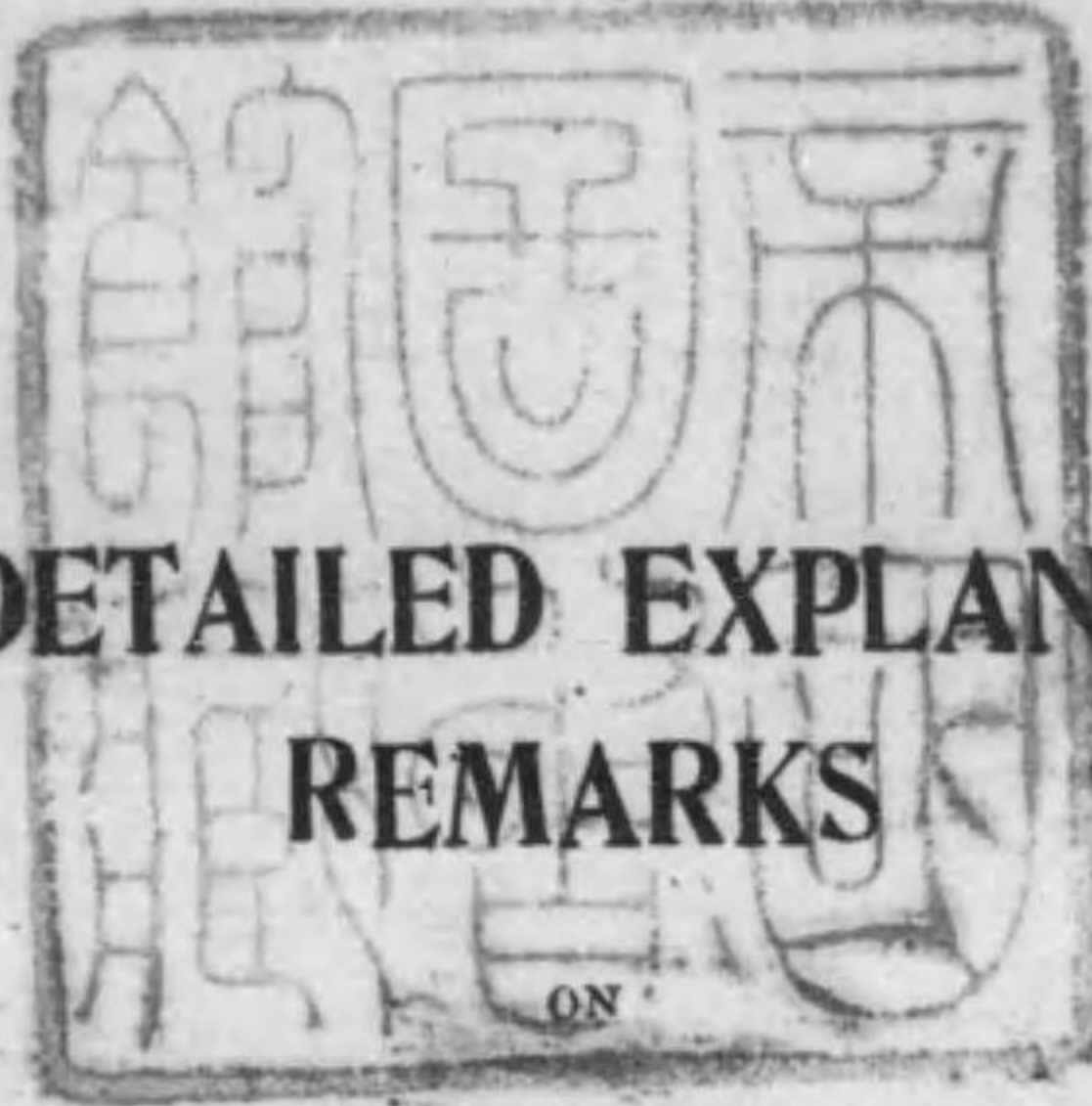
佐久間信恭著

和文英譯十講



323-145

TEN DETAILED EXPLANATORY
REMARKS



Rendering Japanese into English
with
Numerous Graded Examples

BY

N. SAKUMA

和文英譯十講

佐久間信恭著

TOKIO
IKUBUNDŌ
1916



緒言

凡そ英語を學ぶ者にして、和文英譯の至難なるを嘆ぜざるは非ざるべし。英文法に精通せる者と雖必ずしも和文英譯に自在なりと云ふ能はず。又英文の通解に流暢なる者にして、尙未だ和文英譯に熟達せざるの事實少しとせず。

蓋し眞に和文英譯を能くする者は、一方に英語の單語及熟語の蘊蓄豊富にして、而も時に應じ處に隨ひて、適當に之等を使役配置するの材能を要し、又他の一方に於ては、和文英文の雙方に亘りて、其語法句法に通曉し、英文の構成に正鵠を失はざると共に、邦文の解譯に的確なるの明識なかるべからず。

加之吾人の日常使用し又遭遇する邦語は、不統一なる文法を根據とし、煩雜なる語飾を伴ふを以て、斯の如き國語を題材とし、之を吾人の新知識たる英語に轉譯するに方りて、題材の表示する精神を把握し、而も尙ほ其文辭の妙を忠實に描出せんとする事の容易ならざるは決して怪しむに足らず。

近時各種の高等専門學校入學試験に際し、英語受験者が英文解釋又は英文法に於て相當の成績を收め得るにも拘らず、獨り和文英譯の實力の之に伴はざるものあるは當局試験官の恒に痛嘆して已まざる所なりとす。又中學卒業生にして尙ほ能くバアナアド ショウの戲曲を觀賞

し、タゴールの哲學を解する者ありと雖其の多くが完全に一葉の端書すら英文にて其友人に與へ得ざるの事實は吾人之を實證するに憚らず。

斯の如き事實は寔に現代學生の通弊の一端を語るものにして、是れ亦實に和文英譯の學習困難なるに基せずんばならず。

本書が茲に和文英譯十講と題し主として和文英譯の生命たる英文の構成を敘説し、併せて其自在なる活用を摘示するに力めたるは、一に世の英學生殊に入學試験の難關に臨まむとする受験者諸子の爲に、和文英譯の準備難を輕減せん事を期したる爲に外ならず。

最爾たる此小冊子にして、能く受験準備の好伴侶たる事を得、此方面に於ける時代の要求に迎合する所あらば、編者の宿望則ち足れりとす。

大正四年十月

編者識

凡 例

- [1] 本書は部門を十講に分ち、各講各別に和文英譯に主要なる英文の構成法を説く。然乍ら和文英譯の講述は普通の學術講義と異なり、終始一貫して論理を縷述し通則を詳説するは無味單調に流るゝの嫌ひありて、學習上却つて不便少からざるを以て、講説の大部分を作例、公式並に練習題に依頼する事とせり。
- [2] 又各部門の講目及其細別たる項目に掲ぐる所の、英文の構造形式に關する術語は、其典據を英文法に有するものなるか、然らずんば編者の便宜上假設したるものなれども、之等の題目の設定は固より編別の便宜に隨ひしものなれば、其一々に就て枝葉に亘るの解説を附せず。
- [3] 本書は、上述せる如く、實習上の便宜を重んじたるを以て、練習題の如きも、其資料を各高等專門學校の入學試験問題に求め、更にまた比較的嶄新なる新聞雜誌記事の拔萃を以て其の足らざる所を補ひたり。又本書に掲ぐる十種の講目中、殊に〔第六講〕比較法・〔第七講〕時の表示・〔第九講〕條件法に於て示すが如き諸種の Construction は、入學試験問題等にして暗に其構成を要求するもの甚多く、従つて受験者の之が活用の機會に逢着すること屢々なれば、受験準備の際に決して輕々に附すべからざるものたるや論を俟たず。

和文英譯十講

目 次

第一講 主格の作成

	頁數
§ 1. it の用法 (甲)	1
[A] 天候を示す場合.....	1
[B] 時間を示す場合.....	2
[C] 距離を示す場合.....	3
練習題 (1-15)	
同 解 答	203-204
§ 2. it の用法 (乙)	5
[A] 不定法句の場合	6
[B] Clause の場合	7
練習題 (16-34)	
同 解 答	204-206
§ 3. it の用法 (丙)	10
練習題 (35-36)	
同 解 答	206
§ 4. there の用法	12
練習題 (37-48)	
同 解 答	206-207
§ 5. we; you; they; one; he, those の用法	15
練習題 (49-61)	
同 解 答	207-209

	頁數
§ 6. 無生物主格	19
練習題 (62-69)	
同解答	209-210
第二講 疑問體	
§ 7. 一般疑問體	23
練習題 (70-78)	
同解答	210-211
§ 8. 特別疑問體	27
練習題 (79-98)	
同解答	211-212
第三講 否定體	
§ 9. no; nothing; none; never の用法	32
練習題 (99-113)	
同解答	213-214
§ 10. above; beyond の用法	35
練習題 (114-117)	
同解答	214-215
§ 11. 打消+ but 其他の形式	37
練習題 (118-125)	
同解答	215
第四講 受働態	
§ 12. 受働態の例外的用法	40

	頁數
練習題 (126-140)	
同解答	215-217
第五講 命令體及感嘆體	
§ 13. 命令體	44
[A] 普通の命令體	44
[B] 條件的命令體	45
練習題 (141-150)	
同解答	217-218
§ 14. 感嘆體	47
練習題 (151-155)	
同解答	218
第六講 比較法	
§ 45. 比較級の場合	49
[A] 積極的語法	49
[B] 消極的語法	50
練習題 (156-174)	
同解答	218-220
§ 16. 最上級の場合	54
[A] 一般的語法	54
[B] 比較級的語法	55
練習題 (175-197)	
同解答	220-222
第七講 可成法	

	頁數
§ 17. may の用法	60
§ 18. might の用法.....	62
練習題 (198-216)	
同解答.....	222-224
§ 19. can の用法.....	65
§ 20. must の用法	67
練習題 (217-227)	
同解答	224-225
§ 21. should の用法	69
練習題 (228-245)	
同解答	225-227
§ 22. would の用法.....	74
練習題 (246-255)	
同解答	227-228
◇ 第八講 時の表示	
I. 時の區劃 (甲)	78
§ 23. 現在	78
[A] 一般現在	78
[B] 連續現在	79
練習題 (256-268)	
同解答	228-229
§ 24. 過去	82
[A] 一般過去	82
[B] 連續過去	83

	頁數
練習題 (269-270)	
同解答	229
§ 25. shall 及 will の用法	84
[A] 敘事體	85
1. 純未來を表す場合	85
2. 意思を表す場合	86
3. 義務及命令強制を表す場合	87
4. 常慣を表す場合	89
練習題 (271-280)	
同解答	229-230
[B] 疑問體	91
1. 純未來を表す場合	91
2. 意思を表す場合	92
3. 義務及命令強制を表す場合	93
4. 常慣を表す場合	94
練習題 (281-286)	
同解答	230
§ 26. 格段なる未來の形式	95
[A] 連續未來	95
[B] 現在動詞の未來代表	96
練習題 (287-299)	
同解答	231-232
II. 時の區劃 (乙)	99
§ 27. 現在完了	99

	頁數
[A] 現在完了	99
[B] 連續現在完了	100
練習題 (300-316)	
同解答	232-233
§ 28. 過去完了	103
[A] 過去完了	103
[B] 連續過去完了	103
[C] 過去動詞の過去完了代表	104
練習題 (317-325)	
同解答	233-234
§ 29. 未來完了	106
[A] 未來完了	106
[B] 連續未來完了	107
[C] 現在完了の未來完了代表	107
練習題 (326-337)	
同解答	234-235
III. 時に關する接續詞, 副詞, 前置詞の用法	110
§ 30. when; while; as; now that	110
練習題 (338-353)	
同解答	235-236
§ 31. since 及 after	114
練習題 (354-373)	
同解答	236-238

	頁數
§ 32. before	118
練習題 (374-375)	
同解答	239
§ 33. before; since; ago	119
練習題 (376-384)	
同解答	239-240
§ 34. till 又は untill; by 又は by the time	122
§ 35. for; during; in; within	124
練習題 (385-397)	
同解答	240-241
§ 36. as soon as 其他	126
○ 第九講 條件法	
§ 37. 推測的條件を表す場合	129
練習題 (398-424)	
同解答	241-244
§ 38. 假設的條件を表す場合	135
練習題 (425-444)	
同解答	244-246
第十講 接續法	
§ 39. 等級文の接續	142
[A] and の用法	142
練習題 (445-461)	
同解答	246-248

	頁數
[B] not only but (also); as well as; both	148
...and の用法	152
練習題 (462-475)	
同解答	248-250
[C] or の用法	152
練習題 (476-477)	
同解答	250
[D] either or; neither nor; whether or	
の用法	152
練習題 (478-486)	
同解答	250-251
§ 40. 名詞體の接續	155
[A] 接續詞を用ふる場合	155
[B] 疑問詞を用ふる場合	155
練習題 (487-494)	
同解答	251
§ 41. 直接法及間接法	158
[A] 原則	158
[B] 例外	165
練習題 (495-529)	
同解答	252-256
§ 42. 形容詞體の接續	173
[A] 同格名詞の接續	173
練習題 (530-537)	

	頁數
同解答	257
[B] 關係代名詞又は接續副詞を用ふる	
接續	176
練習題 (538-563)	
同解答	258-260
[C] 形容詞的不定法の接續	183
練習題 (564-569)	
同解答	261
[D] 分詞の接續	185
練習題 (570-579)	
同解答	261-262
§ 43. 讓歩體の接續	188
[A] 一般讓歩體の接續	189
[B] 命令體を用ふる讓歩體の接續	190
[C] 最上級に依る讓歩體の接續	190
練習題 (580-599)	
同解答	263-265
[D] though; if 等を用ふる讓歩體の接續...	190
§ 44. 獨立體の接續	194
[A] 絶對分詞句	194
[B] 不人稱絶對分詞句	195
[C] 絶對不定法句	196
練習題 (600-617)	
同解答	265-267



元來主格は文章の主腦を成すものである。故に和文英譯に於ける基本事項の一は、如何なる語句を以て譯文の主格とするかと謂ふ事である。

然るに英文に於ては、屢々、邦文には不必要なる特種の主格を添加する場合がある故、之より漸次に主として之等の事項に關して、研究を試みようと思ふ。

[1] it の用法 (甲)

天候、時間、距離等を指示す主格として屢々中性代名詞の it を用ふる。

[A] 天候を指示す場合

天候、即ち天氣又は陽氣（寒暖）を指示す主格としての it の用法は次の文例に示す通りである。

【譯 例】

- 1. 晝迄には^{キッ}屹度晴れませう。
 - [a] It will certainly clear up by noon.
 - [b] We shall certainly have fine weather by noon.

2. 日増しにお寒くなつて参ります。

[a] It is getting colder every day.

[b] It is growing cold day after day.

3. 昨日は風が酷くて戸外へ出られませんでした。

[a] It } blew too hard to go out yesterday.
The wind }

[b] It } blowing very hard, there was no
The wind } going out yesterday.

4. 大した雨は降りませぬが、毎日何といふ鬱陶しいお天気で御座いませう。

It does not rain much, but what gloomy weather it is every day!

[B] 時間を指示する場合

時間、即ち刻限、時日、年月、季節等を指示す主格としての it の用法を次に例示する。

【譯 例】

1. 今何時ですか。私の時計で丁度三時です。

What time is it now? It is just three by my watch.

2. 日暮れに間も無いからお暇致します。

As it is near sunset, I will take my leave.

3. 私は叔父に別れてから、もう拾年になります。

It is ten years since I parted from my uncle.

[C] 距離を指示する場合

遠近、距離等を指示す主格としての it の用法を次に例示する。

【譯 例】

此處から淺草迄何れ位有りますか。大した道程でも御座いません。

How far is it from here to Asakusa? It is no great distance.

The wind blew fiercely, and at last it has calmed.

練 習 題

1. 風はさんざん吹いてから漸く穏やかになつた。

(大正 3. 海兵)

漸く—at last. 穏やかになる—to become calm.

2. 昨日は雨降りでしたが、今日は大層良いお天気に成りました。(40. 名古屋高工)

3. 今日は可成り暖かではありますが、昨日はもつと暖かでありました。(大正 4. 東北工)

可成り—fairly.

4. 毎日段々寒気が強くなつて参ります。最早雪が降つて参りませう。(40. 商船)

最早—before long.

5. 今日は誠に結構なお天気です。併し暖か過ぎるから永持ちは致しませう。(45. 海機)

結構な天気—charming.

永持する—to last long.

6. 翌日は雨も歇むでお天気になつた。私は例の時刻に印刷工場から歸つた。

お天気に成つた—the fine weather was restored.

印刷工場—the printing workshop.

7. 僕が獨逸語を學び出してからもう五年になる。

(41. 海兵)

8. 彼に一昨年（41. 海兵）の三月に別れてから丁度五年になります。(大正 4. 長崎高商)

別れる—to part from. *丁度—exactly 又は just.

9. 丁度六時です。私のは正午の號砲に合せましたから正しいと思ひます。(42. 陸士)

正午の號砲—the twelve o'clock gun 又は the noon-gun. 時計を……に合はせる—to set one's watch by…… 正しい—right.

10. もウ春に成つたのに何時迄もお寒い事です。昨日も雪が少し降りました。(大正 2. 仙臺高工)

何時迄もお寒い事です—How long the cold lasts!

11. 寒い寒いと云つて居る内に、今年ももう三月に成りました。

寒い寒いと云ふ—to complain of the cold.

12. 向島の櫻にはもう遅いし、日比谷の躑躅には未だ早い。

……には遅い(早い)—too late (early) for……

13. 十隻の驅逐艦は目下内地にて建造中なるが、久しからず全部完成すべし。(大正 4. 海機)

驅逐艦—the torpedo-destroyer.

建造中—under construction.

久しからずして……すべし—It will not be long before……

14. 私の宅から電車迄は僅か三町足らずの道程で御座います。

三町足らず—not more than three cho.

15. 此處から日比谷公園へは、近過ぎもせず遠過ぎもせず散歩には持つて來いで御座います。

近過ぎもせず遠過ぎもせず—neither too near nor too far. ……には持つて來い—just the right (distance) for……

[2] it の用法 (乙)

『何々する事は云々』又は『何々するのは云々』の如き邦文を英譯するに方つて、之に相當する不定法句若しくは分詞句 (Infinitive phrase or participial phrase) 並に that を伴ふ Clause を以て、譯文の主格とするのが本來であるが、此代りに it を用ゐて次の様な形式にしても差支無い場合がある。

{ It + 動詞 + Infinitive phrase.

{ It + 動詞 + (that + Clause).

【譯 例】

[A] 不定法句の場合

1. 英語を話す事は難かしい。

[a] It is difficult to speak English.

[b] To speak English }
Speaking English } is difficult.

2. 入學試験準備に大分永く掛りました。

[a] It took a long time to make preparations for the entrance examination.

[b] It was a long time before my preparations were made for the entrance examinations.

【註】 [b] の it は前項に述べたる時間を指示する主格としての it である。

3. 陸路より船路を行つた方が面白からう。

It will be pleasanter to go by water than by land.

4. 左様した方が萬事都合が良い。

It is best to do so on }
upon } every account.

5. 言ふは易く、行ふは難し。

It is easy to say a thing, but difficult to perform it.

【注意】 英文に於て、『汝が斯々するのは親切だ』『彼が斯々するのは酷い』『彼が斯々したのは賢かつた』と謂ふ様な意味で、It is kind of you to do so; it is hard of him to do so; it was wise of him to do

so 等の形がある。此形を應用して次の如き邦文を英譯する事が出来る。

6. 御深切に良く左様仰有つて下さいました。
-
- It was very kind }
-
- good } of you to say so.
- so.*

7. 其んな手荒な事をするのは彼人が間違つて居る。

It was wrong }
bad } of him to behave so outrageously.

[B] Clause. の場合

1. 體の弱いのが誠に氣の毒です。

[a] It is a great pity that he has such weak constitution. *weak a*

[b] That he has such weak constitution is a great pity.

2. 近頃彼人から一寸も便りの無いのは訝しい。

It is strange that I have heard nothing from him of late.

3. 彼の賢明な事は言ふ迄も無い。

It is needless to say }
It goes without saying } that he is a wise man.
It is certain }

4. 人間は正直であつて欲しいものだ。

It is hoped that men will be honest.

練 習 題

16. 大きな軍艦を造るには少くとも二年を要します。

(30, 海兵)

少くとも—at least.

17. 歩けば三時間余りも掛るが、汽車では三十分も掛るまい。(41. 六高)

歩けば—on foot. 汽車では—by train.

三十分も—as much as half an hour.

18. 此處から彼處迄行くには、徒歩で四十分電車で十分位掛る。(大正 2. 水産)

電車で—by electric car.

19. 貴君の叔父さんはもう御出発になりましたか。まだです。中々準備に手間が掛ります。(43. 外語)

出発する—to leave.

手間が掛る—to take a long time.

20. 未來の事を知り度いのは人情です。

人情—human nature. 未來の事—future events.

21. 風俗習慣を知るには其國に久しく住んで居る事が必要だ。(41. 海兵)

風俗習慣—manners and customs.

知る—to be acquainted with.

22. 出来る事なら夏は静に家に休んで居、春か秋に旅行致すのが、一層愉快で御座います。(40. 商船)

出来る事なら—if possible.

23. 英語を書く事は六ヶ敷いですが、話す事は猶六ヶ敷いです。(43. 大阪高工) 英語の調子と全うすべし

24. 大河を決した様な時代の趨勢には容易に抵抗する譯には行かない。

大河を決した様な—pushing ^{onward} forward like a flood of a great river.

時代の趨勢—the spirit of the times.

25. 習慣に逆らひ、世論を破り、更に一新路を開くは難きが中の難き事なり。(45. 高工)

世論—public opinion.

一新路を開く—to begin a new career.

26. 今日此頃は、大分春めいて参りました。日中などは、もう外套がうるさくて仕様がありません。

大分—a great deal. 春めく—to look like spring.

日中—daytime. うるさい—troublesome.

27. 今日は圖らずお招ぎに與りまして有難う御座います。

【註】『圖らず』は態々譯する程の必要なかるべし。

28. 御暑いのに遠路態々お見舞下さいまして、誠に有難う御座います。早速此方からもお伺ひ致します。

御暑いのに—in this heat. 遠路態々(見舞に来る)—to come such a distance to see a person.

お伺ひする—to have the pleasure of calling on you.

29. 年頃の女が夜更けに獨りで外出するなんて以ての外だ。

年頃の女—a young lady. 獨りで—by oneself.

以ての外(甚怪しからぬ)—most reprehensible.

30. 何事をするにも鞏固な意志が取分け肝要なのは言

ふ迄も無い事です。(大正3. 醫專)

何事をするにも—in doing anything.

鞏固な意志—an iron will.

31. 日本が絶えず東洋永遠の平和を確保せん事に汲々たるは言ふを俟たず。

東洋永遠の平和—the permanent peace of the Far East. 確保する—to secure. 汲々たる—devoting one's earnest attention to, to be.

32. 経済上の法則として、使へば減るのは當然の話だ。

経済上の法則—the law of economics.

33. 平和克復の後北海道より樺太へ赴く人の著しく増加したるは驚くに足らぬ事です。(39. 東北農)

平和克復—the restoration of peace.

著しく増加する—to increase considerably.

34. 近頃不良少年や不良少女が良家の子女に多いのは誠に慨嘆の至りだ。

不良少年少女—depraved youths.

良家—respectable family.

慨嘆の至り—most deplorable.

[3] it の用法 (丙)

『彼家が焼けたのは何日幾日であつた』『試験を受けたのは何處其處であつた』と謂ふ如く、其の何日幾日であつた事又は何處其處であつた事を特に提言する様な語氣を

表す場合には、次の譯例に示す通り、it を伴ふ Emphatic Construction なる形を用ゐる。

【譯 例】

1. 彼家が焼けたのは昨日でした。

It was yesterday (that) that house was burned.

【註】括弧内の that は省略する可なり。

2. 試験を受けましたのは此教室で御座います。

It was this class-room ^{(where)} _{(that)} we were examined in.

3. 此方の事を先日お話致しましたので御座います。

[a] It was this gentleman (that) I spoke of to you the other day.

[b] This is the gentleman of whom I spoke to you the other day.

4. 貴方の御宅で彼人に逢ひましたのは初めて御座います。

It was for the first time (that) I met him at your house.

練 習 題

35. 家に歸つたのは午後六時であつた。(43. 盛岡高農)

家に歸る—to get home; to return home; to come home.

36. 生れてから此んな嬉しい事に逢つたのは初めて
す。(40. 神戸高商)

生れてから.....初めて—for the first time in
one's life.

[4] there の用法

there と謂ふ語にも亦、前説 it の用法 (乙) に於ける it
と甚能く似た用法がある。即ち、或物又は事實の有無を
物語る如き場合には、其物又は事實を表す語が實際の主
格であるにも係らず、其有無に重きを置く結果、態々
there を主格に用ゐて、次の形式を作出するのである。

There + 動詞 (主として be 動詞) + 實際の主格

【譯 例】

1. 神田には古本屋が澤山在る。

There are a number of second-hand book-stalls in
Kanda.

2. 節儉と吝嗇とでは大した違ひだ。

There is a great difference between frugality and
parsimony. (= miserly) *gap*

3. 昨夜東京附近に可成りの地震が御座いました。

[a] Last night there was a fairly severe earthquake
in Tokio and its neighbourhood.

[b] A fairly sharp earthquake was experienced in
Tokio and its neighbourhood last night.

4. 彼が辭職したのは何か譯でもあるのですか。

Was there any cause for his resignation?

5. 此文章は他に書き様が御座いますか。

[a] Is there any other way of writing this sentence?

[b] Is there any other way in which this sentence
could be written?

練 習 題

37. 若い時に勉強しなかつたのを悔いる人が澤山有
ります。(39. 高)

若い時に—in one's youth. 悔いる—to regret.

38. 人を使ふのと、人に使はれるのとは大なる相違に
非ず。(41. 高工)

人を使ふ—to employ.

人に使はれる—to be employed.

39. 茶に二種類あり。紅茶及緑茶之れなり。

(45. 神戸高商) *am*

紅茶—black tea. 緑茶—green tea.

40. 其家には電話が架設して有りますか。(39. 長崎高商)

電話—telephone. 架設する—to install.

41. 其人の上達が速い理由が何か有りますか。(39. 陸士)

上達—progress. 理由—reason. *R.I.N.S.*

42. 上野公園には何か歴史上の古蹟が在りますか。
(40. 商船)

歴史上の古蹟—historical remains.

43. 誰か彼人と同居して居ますか。(43. 高師)
同居する—to live with another.

44. 私は未だ今日の新聞を読みません。何か面白い記事が有りますか。(45. 海機)
今日の新聞—to-day's paper.
面白い記事—interesting news.

45. 人間の欲望には種々あつて、高位高官に上り度いと云ふのも其一つだし、澤山の金を持ち度いと云ふのも其一つである。
人間の欲望—human desire.
高位高官—high rank and office.

46. 電車は如何いふものか知らぬ人があると先生が話したら兒童等がどつと笑出した。(大正2. 高工)
どつと笑ひ出す—to burst out laughing in chorus.

47. 隠居と謂ふものがある。其れは老いて生存の實力の無い者を云ふのである。
生存の實力—real ability for living.

48. 我國の古い年代記には彗星の出現や日蝕月蝕の有つた事などが澤山に載つて居る。
古い年代記—ancient annals. 彗星—comet.
日蝕月蝕—solar and lunar eclipses.

[5] we; you; they の用法
one; he; those

we; you; they; one; he; those 等は何れも其本來の用法以外に更に一般的の意味に用ゐられる。即ち、

(イ) 廣く人間一般を云ふ場合に we (=men in general)

(ロ) 前者より稍狭い意味で、而も漠然と人間を指す場合に you (=men)

(ハ) 社會一般の人、即ち世人を指す場合には they (=people)

(ニ) 漠然と一個人を指して、世人一般を代表せしむる場合には one (=any one)

(ホ) 『斯々の人は誰でも』の意味を表はす時には he }
【註】 但し one..... の方が新 } who, etc.
しい形である。 } one

(ヘ) 『斯々の人々は』の意味を表はす時は those who, etc.

以上の諸種の用法は、文章の前後の關係及び語の慣用法に従つて、其時其處に於て何れを選ぶべきか、決せらるゝものであつて、時としては、we; you; they; one 何れを用ふるも妨げ無く、又 he (one) who.....; those who

..... 孰れを採るも大差ない場合がある。這般の要領を次の文例に示す。

【 譯 例 】

1. 植物を製して種々の良い薬が採れます。

One obtains }
You } obtain } various useful medicines from pre-
They } } parations of plants.

【註】 One を用ふる場合には、主格及目的格に於ては he 又は him に非ずして常に one, 所有格に於ては his に非ずして one's なる事は英文法の規定する所である。例へば、『人の風習を咎めるより先づ己れの風習を匡すべきものだ』
One should mend one's manners before one finds fault with those of other people.

2. 其んな事は公然と言ふべきものでは有りません。

You }
One } ought not to say such things in public.

3. 物事に倦き易い人は成功しません。

He }
One } who soon gets } tired of everything will not
Those who soon get } succeed.

4. 大雨がやつて来そうです。

We are {likely }
 {going } to have a heavy fall of rain.

【註】 斯の如く天候を人の側より曰ふ場合には we を用ふる。之は一つの慣用語法と見てよい。

〔§ 1. 譯例 (1) 参照〕

5. 人は外觀の美に欺かれ易い。

We are apt to be deceived by beautiful appearance.

6. 彼學校に這入るには入學試験を受けねばならぬ。

We have to be examined to enter that school.

7. お前さんの店に良い万年筆が有りますか。はい澤山御座います。

Have you any good fountain-pen? Yes, sir, we have plenty.

【註】 商店側の者が自己の商店に就て語る場合には第一人稱に於て we を用ふる。而して人が商店側の者を漠然と指して言ふ場合には第三人稱として they を用ふる。例へば、『彼店では文房具を賣つて居ますか』 Do they sell stationery at that shop?

練 習 題

49. 今日から四日休みになりました。

今日から—from to-day inclusive.

50. 何時も櫻の咲く時分には兎角天氣が曇ります。

天氣が曇る—we have overcast weather.

咲く—to be in bloom.

51. 人は好きなものは通例上手に出来る。(45. 陸士)
通例—generally 又は as a rule.
52. 死んで見なければ來世の有無は分らない。
死んで見なければ(=死なない内は)—

until	}	one
till		

dies. 來世—a future state.
53. 若い内に勉強しない者は先へ行つてから後悔します。(39. 高師)
先へ行つてから—in after life.
後悔する—to repent.
54. 長命の人は十中八九早起少食です。(40. 高商)
十中八九—nine cases out of ten 又は ten to one.
早起(する)—to rise early.
少食(する)—to eat moderately.
55. 弊店には當時流行の新形が御座います。
當時流行の新形—nice new patterns in vogue.
56. 外界の刺戟の無い人間は自己の向上に努力を懈る。
外界の刺戟—stimulus from without.
自己の向上—personal improvement.
57. 『君、共進會敷地の跡は何に成るのか』と友人が尋ねましたので『公園に成ると曰ふ事だ』と答へました。(43. 名古屋 高工)
共進會—the Competitive Exhibition.
……と云ふ事だ—I hear 又は it is said.

58. 彼呉服屋は今月の朔日^{ツイタテ}から二三週間大勉強の賣出しをして居る。

今月朔日—the 1st of this month. 大勉強の賣出しをする—to have an exceptional sale at discount.

59. 苟も獨立の人たらむと欲する者は自ら働きて自ら養ひ、他人の厄介とならざる様心掛けざるべからず。(44. 神戸 高商)

獨立の人—a man of independence. 自ら働きて自ら養ふ—to support oneself by one's own work.

60. 日本には大なり少なり庭の無い家は滅多に見受けられぬ。此一點からでも日本人が深く自然を愛する事が分る。(大正 4. 高工)

大なり小なり—large or small. 此一點からでも—even in this respect. 深く—deeply.

61. 金を持つて居る者は金を用ふる事を知らず、金を用ふる事を知つて居る者は金を持つて居らぬと謂ふ事は實に惜しい事だ。

金を用ふる事—how to use money.

實に惜しい事だ—What a pity that………!

[6] 無 生 物 主 格

無生物又は抽象的事實を以て主格とする事は、何も英語に限つた事では無く、邦語にも間々見ることであるが、茲に説かむと欲する所は、人物が主格たる邦文を英譯す

るに方つて、故らに、無生物又は抽象的事實を主格とする場合である。然乍ら、其の如何なる場合に然るかは、一々實際問題に就て決するの外なく、一般の通則を擧げる事は出来ぬ。唯比較的が多いと思はれる場合を擧げれば、

- (イ) 人物を主とし、無生物又は抽象的事實を客とせる能働態 (Active voice) を受働態 (Passive voice) に變換する場合。
- (ロ) 人物 *x* が、抽象的事實 *y* の爲に、結果 *z* を來したる意味を、抽象的事實 *y* が人物 *x* をして、結果 *z* を生ぜしめたる形式にて述べる場合。

【譯 例】

1. 近頃世間では彼人の^{サク}作を大騒ぎして居ります。
A great deal of fuss has recently been made about his works.
2. 西比利亞鐵道が出来た爲に我國から譯なく歐羅巴に行ける様になりました。
The construction of the Siberian Railway has brought Europe within easy reach of this country.
3. 療治が手後れだつたから治癒^{ナホ}するのに手間が取れませう。
The lateness of the treatment will retard the cure.
4. 不圖餘義ない用事の爲に御違約を致しまして、何とも申譯が御座いません。

Some unavoidable business prevented me from keeping my promise; I really do not know how to apologize to you.

5. 日本から歐羅巴へ行つた人で、航空術の發達して居るのに驚かない人は殆無いそうです。

The development of the aerial navigation in Europe has ever bewildered the eyes of almost every Japanese tourist, it is said.

bewildered the eyes of almost
練習題

62. 大きな事をするには、大きな心を持たねばならぬ。

(40. 山口 高商)

大きな心—a great mind 又は a broad mind.

63. 如何なる外國人でも日本へ來て驚くのは火事と地震の多い事です。(大正 2. 高商)

(火事や地震の) 多い事—the frequent occurrence.

64. 東京下田間の汽船は貨物の運搬を主として往復する。

貨物の運搬—conveyance of merchandise.

65. 已むを得ざる用事有之御招待に應じ難く遺憾至極に存じ候。(大正 2. 熊本 高工)

已むを得ざる用事—unavoidable business 又は important engagement.に應ずる—to have the pleasure of accepting 遺憾至極—I much regret that.....

66. 西比利亞鐵道の發達した結果敦賀は最近五年間に非常に繁昌して來ました。(43. 長崎 高商)

最近五年間に—these past five years.

繁昌する—to prosper.

67. 巴奈馬運河が開通すると横濱紐育間の通路は三分の二以下に減じます。(44. 高商)

巴奈馬運河—the Panama Canal.

三分の二—two-thirds.

68. 此頃は繪葉書が流行して互に其意匠嗜好の交換をして居るが之は甚結構な事である。(40. 山口 高商)

此頃—now-a-days. 繪葉書—a picture postal card.

流行する—to be in fashion (vogue).

意匠—design. 嗜好—taste.

結構な事—a matter of felicitation.

69. 何事も創始の際には多少の犠牲を免れぬ。近時我飛行界に於ける悲しむべき出来事も其一例である。

(大正 2. 高工)

創始—commencement.

飛行界に於ける悲しむべき出来事—the sad aeroplane accidents.

6. 27

27. 1. 1917.

第 二 講

疑 問 體

疑問體を分つて一般疑問體及特別疑問體の二とする。

[7] 一般疑問體

一般疑問體とは事の有無、眞偽を問ふ場合に用ゐらるる形で、其答には Yes 又は No を要する。而して之等の答に於ては、次に示す如く、語を略するのが通例である。

[疑 問]

[答]

(イ) 貴君はお醫者様ですか。

Are you a doctor?

{はい、左様です。
いゝえ、左様では
有りません。

{Yes, I am.
No, I am not.

(ロ) 御兄弟がお有りですか。

Have you a brother?

{はい、有ります。
いゝえ、有りませ
ん。

{Yes, I have.
No, I have not.

(ハ) 英語は分りませんか。

Do you not understand
Don't you } English?

{はい、分りません。
いゝえ、分ります。

{No, I don't.
Yes, I do.

【註】 斯の如く『...は分りませんか』の問に對して答『はい、分りません』を “No, I don't.” と譯し、『いゝえ、分ります』を, “Yes, I do.” と譯す。

- (ニ) 獅子を御覽になつた事が
ありますか。 {はい、あります。
いゝえ、ありませ
ん。
Yes, I have.
No, I have not.
- Have you ever seen a lion?
- (ホ) 彼は貴君に話をお聞かせ
しましたか。 {はい、しました。
いゝえ、しません。
Yes, he did.
No, he did not.
- Did he tell you the story?
- (ヘ) 一緒にお出でになりませ
んか。 {はい、参りませう。
いゝえ、参りませ
ん。
Yes, I will.
No, I will not.
- Will you not come with me?
- (ト) 鷲と鷹の區別が出来ませ
んか。 {はい、出来ます。
いゝえ、出来ませ
ん。
Yes, I can.
No, I can not.
- Can you tell hawks and eagles?

以上は極めて普通の略し方であるが、答へ方の如何に依つては、略し様も色々に成つて来る。次の譯例に於て少しく、其形式を示して置く。

【譯 例】

- 誰かタイプライタアの良く出来る人を御存じ有り
ませんか。はい一向に存じません。
Do you not know of any good typist? No, none
at all.
- 此羅紗は保ちが宜しう御座いますか。はい可成り
保ちます。
Does this woollen cloth wear well? Yes, fairly
well.
- 彼方は洋行なすつた事が有りますか。いゝえ一寸
も御座いません。
Has that gentleman ever been abroad? No, never.
- お腹が御痒みになりますか。はい、大分痛みます。
Have you a stomach-ache? Yes, a great deal.
- 大阪に誰かお知合は御座いませんか。はい少し御
座います。
Haven't you any acquaintances in Ōsaka? Yes, a
few.
- 相撲はお好きで有りませんか。はい少しも好きま
せん。
Are you not fond of } the wrestling? No, not at all.
Don't you like }
- 月が出て居りましたか。いゝえ、闇夜でした。
Was the moon up? No, it was a dark night.

練 習 題

(編者曰)次の練習題中疑問文に對する答を缺けるものには任意に答を補ひ、練習の爲め、之をも英譯せられん事を望む。

70. 貴君は横濱に御存じの方が多う御座いますか。
(41. 高師)
71. 復た遅れた。時は金であると謂ふ事を知らぬか。
(41. 二高)
72. 學校は好きですか。勿論好きです。(41. 二高)
73. 入學試験が本月から始まると謂ふのは確ですか。
(41. 海機)

確—certain.

74. 君は中學校の課程を卒へて後更に高等の學校へ入學を希望せらるゝ由承りましたが本當ですか。
(39. 東北農)

中學校の課程を卒へる—to complete the middle school course. ...を希望する—to have a mind to.... 本當—true 又は real.

75. 余は文武學校にて太田君と同級生たりし事ありしが君も同校に學びし事ありや。(39. 高師)
同級生—a classmate.
76. 君が天城山に遠足に出掛けた時は晴天であつたか、又は雨天であつたか。(42. 商船)
遠足に出掛ける—to go on an excursion.
雨天—wet weather.

77. 郊外に引越し度いと思ひますが、御宅の附近に貸家は有りませんか。(44. 高工)
郊外—suburbs. 引越す—to remove to.... 御宅の附近—in your vicinity. 貸家—a house to let 又は a vacant house (明家).
78. 貴君は大觀兵式に行きませんでしたか。はい参りませんでした。入場券が有りませんでしたから。
(39. 高商)
大觀兵式—the Great Review. 入場券—a ticket for admission.

[8] 特別疑問體

特別疑問體とは疑問代名詞、疑問形容詞、疑問副詞等を以て始まる疑問體で、Yes 又は No を以て答へる事は出来ぬ。特別疑問體及其答の様式を次の譯例に示す。

【譯 例】

1. 神戸迄の汽車賃は幾何ですか。四圓内外かと存じます。
How much does the railway to Kobe cost? (It costs) some four yen or so, I think.
2. 此電車は何處行ですか。三田行です。
Where is this electric-car going? (It's bound) for Mita.
3. 今日は何日ですか。七月十一日です。
Is it certain that the entrance examination begins this month?

What day of the month is it to-day? (It is) the eleventh of July.

4. 何故君は今朝遅れたのか。或急用があつた爲です。

Why were you late this morning? Because I had some urgent business.

5. 『朝日』と『國民』と何方の新聞をお取りですか。両方とも取つて居ます。

Which newspaper do you take in, the Asahi or the Kokumin? (I take in) both of them.

6. 貴君は幾年許歐洲に御滞在になりましたか。英國に三年、獨逸に二年居りました。

About how many years did you spend in Europe?
How many years about did you stay in Europe?
(I was) three (years) in England, and two in Germany.

7. 何時御子息を學校へお出しになりましたか。昨年出しました。

When did you send your son to school? (I did so) last year.

8. 洋食は如何ですか。余り好みません。

How do you like European dishes? I do not care much for them.

練 習 題

79. 何時頃上野の櫻は咲きますか。三月の末頃咲きます。

咲く—to blossom.... の末頃—about the end of...

80. 彼家はもう幾日で出来るでせうか。(41. 海兵)

81. 朝鮮へ行くには幾日掛りますか。(41. 海機)

82. 御國から神戸迄の航海は幾日掛りますか。

(44. 海兵)

御國—your native province.

83. 時に此様な深い地上の雪の隔けるのに何れ程永く掛りませうか。(39. 商船)

時に—by the way.

地上の雪—snow on the ground.

84. 君は東京へ来て、もう何年になりますか。ユー、丁度二年半になります。(大正2. 海經)

エ—well. 二年半—two and a half years.

85. 彼方が歸つてから何の位になりますか。(43. 高師)

86. 今度の試験には生徒を幾人入學おさせなされるお積りですか。(39. 高師)

入學させる—to admit.

87. 西比利亞鐵道で英國に行くには何の位費用が掛りますか。(42. 海兵)

(西比利亞鐵道)で—by way of....

88. 大阪から京都迄どれ位道程が有りますか。

(42. 大阪高工)

89. 貴君は御見受け申した處では、私より五六歳若く見えますが、御幾歳ですか。(41. 商船)

御見受け申した所では—*judging from your appearance*; at first sight.

90. 君の時計で今何時ですか。唯今十時に六分前です。(44. 海經)

91. 君は近頃學校へ出ないが如何したのですか。

(大正 2. 專)

學校へ出ない—*to be away from school*.

92. 東京で最大なる公園は何處ですか。(40. 商船)

【註】 斯かる場合の『何處』は *where* に非ずして *what* なり。

93. 彼は何處の人ですか。(41. 五高)

94. 何故に海水は普通の水より物體の重量を減ずる事多きか。(43. 熊本高工)

海水—*salt-water*. 普通の水—*fresh water*. 物體—*substance*. 減ずる—*to decrease*.

95. 何の電車にお乗りなさいますか。(40. 外語)

96. 失禮ですが、鎌倉へ行く道は何れですか。

(大正 4. 海機)

失禮ですが—*excuse me, but...*

97. 道路平坦にして何等の故障も無いとしたら、自動車と汽車と何方が速からうか。(42. 商船)

平坦—*level*. 故障—*hindrance*. ...としたら—*suppose (that) ...*. 自動車—*an automobile*.

98. 日本より英國に行くには印度洋に由ると、西比利亞線に由ると何れが興味があると、君は思ひ給ふか。

(大正 2. 廣島高師)

印度洋に由る—*to go over the Indian Ocean*.

西比利亞線に由る—*to take the Siberian route*.

興味がある—*interesting*.

6.28

第三講

否 定 體

否定體の普通の形は、云ふ迄も無く、副詞の not を用ふる。例へば、

- (イ) 彼は唯の人では無い。
He is **not** an ordinary man.
- (ロ) 私は其案に賛成しなかつた。
I did **not** support that proposal.
- (ハ) 凡ての鳥が必ずしも鳥ではない。
All birds are **not** crows.
- (ニ) 善人必ずしも榮えず。
A good man **not** always prospers.
- (ホ) 僕の着物は一寸も似合はない。
My clothes do **not** fit me at all.

然るに、否定體に於ては、not 以外の種々の否定語を用ふる事もある故、其等の否定語の用法等に就て、之から述べ様と思ふ。

[9] **no, nothing, none, never** の用法

no, nothing; none or nobody; never 等の用例を次に示す。

【譯 例】

- 日本には未だ地下鐵道は御座いません。
There is **no** underground railway in Japan yet.
- 彼は主人の爲めなら如何なる勞をも惜しまない。
He would spare **no** trouble for the service of his master.
- 彼件に就て彼人は何とも申しませんでした。
He spoke **nothing** about the matter.
- 停車場へ行つたら赤帽が一人も居りませんでした。
None of the (luggage) porters was seen, when I was at the station.
- 誰だつて其んな侮辱を受けて黙つては居られない。
Nobody could stand such insult.
- 彼人があんなに落魄れようとは思はなかつた。
I **never** expected that he would become so poor.
such poverty. *be reduced to*

練習題

- 生憎手許に金を持つて居りません。(40. 海機)
生憎—I am sorry to say. 手許に—on hand.
- 私は英語の外には外國語を知らぬ。(41. 仙臺醫專)
外國語—foreign language.

101. A 君と B 君との友誼は過去十年間少しも變らない。(45. 商船)
友誼—friendship. 過去十年間—(during) these ten years. 變る—to change.
102. 彼は會には出席したが何も意見は述べなかつた。(大正 2. 山口高商)
出席する—to attend 又は to be present at. 意見—one's opinion. 述べる—to express.
103. 九月一日。朝いと涼し。曇り勝ちなる空より日影折々漏る。風なし。(大正 4. 外語)
涼し—cool. 折々—now and then.
漏る—to break through.
104. 天然痘は三四ヶ月前には東京に流行して居りましたが近來新聞に天然痘の記事が御座いません。(41. 商船)
天然痘—smallpox. 流行して居る—prevailing, to be. 近來—recently.
105. 僕の友人で京都に住むで居る者は一人も無い。(大正 3. 海兵)
106. 實に冬は一年中の最困難なる時季です。誰も春又は秋の愉快なる時候より冬の厳しき時候を好む人は有りません。(40. 商船)
實に—in fact. 困難なる時季—the trying season.
107. 歐洲の戦争が何時迄續くか何人も未だ豫想する事が出来ぬ。(大正 4. 高等文官)

- 歐洲の戦争—the great war in Europe.
續く—to last. 豫想する—to foretell.
108. 今回の歐洲大戰亂は何時迄續くだらうか。差當り何人も豫言する事は出来まい。(大正 4. 法大)
差當り—for the present.
109. 今日此んな好い天氣にならうとは思はなかつた。
I cannot expect it from such weather. (大正 海兵)
110. 此頃は彼を見ないが其内僕の處へ來るでせう。
never see that the he will be here. (大正 2. 海兵)
彼を見ない(見掛ける事がない)—to see nothing of him. 其内—before long.
111. 私は生れてから未だ醫者に掛つた事は有りません。(大正 2. 海兵)
醫者に掛る—to consult a doctor.
112. 私外出には洋服許りで和服といふものは一切用ゐません。
洋服—European clothes.
和服—Japanese costume.
113. 私は此地へ來てから十年以上になるが、幸運に、未だ一度も病氣に罹つた事は無い。
幸運に—fortunately.
病氣に罹る—attacked by illness, to be.

[10] above 及 beyond の用法

above 及 beyond は本來は否定語で無いけれども、場合

に依つては次の如く、否定的の意味を表す爲に用ゐられる。

【譯 例】

1. 彼下女は正直だから疑の掛る様な事は無い。
That maid is so honest that she is **above** suspicion.
2. 云ふに云はれない程口惜しかつた。
I was **beyond** expression mortified.
3. 御及第の報に接し此上も無く嬉しく存じます。
I was **out of** / **beyond** measure delighted to be informed that you have passed the examination.

練 習 題

114. 朝鮮人の衛生状態が不完全なるは筆紙に盡し難し。(44. 專)
衛生状態—sanitary condition. 不完全—defective.
筆紙に盡し難し—beyond description.
115. 兎に角餓えず凍えず又幸に病氣もせず、ピンピンして居る丈は安心して呉れ給へ。
兎に角—at any rate. ピンピンして居る—to be in sound health.
安心して—to set one's mind at rest.
116. 過日御依頼の件は何分にも私の不慣れな事で到底

御満足を與へる事が出来なからうと思ひますから御氣の毒ながら御断り申し上げます。(大正4. 高工)

御依頼の件—what you asked of me.

不慣れ—to have no experience in.

御氣の毒ながら—I am sorry to say.

御断りする—to refuse.

117. 我國に於ける科學者にして他の非難を受けざる者は生物學者及物理學者である。彼等の心掛けは實に清らかである。

科學者—a scientist. 非難—reproach.

生物學者—a biologist. 物理學者—a physicist.

心掛け—motive.

[11] 打消 + but 其他の形式

否定體の變體として、打消の後に but; without; unless 又は until 等の語を用ゐて種々特別なる意味を表す場合がある。

即ち、

$$\text{打消} + (B) + \left\{ \begin{array}{l} \text{but} \\ \text{without} \\ \text{unless} \\ \text{until} \end{array} \right\} + (A)$$

の如き形式を用ゐて、『(A)でなくては(B)たる事は出来ぬ』『(A)を以てせずして(B)たる能はず』『(A)にして始

第四講 受働態

[12] 受働態の例外的用法

英語の受働態即ち受身の形は、原則として、邦語の受働態を英譯する場合に用ゐらるゝものとすれば、茲に摘示する所の、受身を以て言表されざる邦語を英譯するに英語他働詞の受身の形を用ふる場合は、受働態の例外的用法と看ても差支へないであらう。然乍ら此の如き用法は、邦語動詞と其譯語たる英語動詞を個々の場合に比較對照して始めて見出さるゝものであつて、初めより一般的の通則を擧げることとは出来ぬ。故に、茲には次の如く其實例の一端を示す丈に止めて置く。

書いてある	= written, to be.
引籠る	= confined, to be.
……に位す, に在り	= situated, to be.
雑沓する	= crowded, to be.
從事する	= engaged (in), to be.
當選する	= elected, to be.
(嵐などに遭遇する)	= caught (in a storm), to be.

焼ける	= burned, to be.
焼失する	= burned { down, to be. to the ground, to be.

練習題

126. 此名刺に私の姓名と番地とが、すっかり書いて御座います。(39. 專)
番地—address. すっかり—fully.
127. 彼人は始終家に引籠つて居ます。(40. 海機)
128. 米澤市は東京の北約二百哩の處に在り。
(大正 2. 米澤 高工)
北約……哩—……miles north of……
129. 上野停車場は東京市の北端に在りて、青森市と相距ること四百五十六哩に餘る。(40. 高工)
130. 櫻花満開の時には上野は大に雑沓致します。
(40. 商船)
満開—to be in full bloom.
131. 私は馬車や自動車の込み合つて居る街を大膽に歩く事は出来ません。(大正 2. 外語)
大膽に—boldly.
132. 私が十年前に住んで居ました家が昨夜焼けました。(大正 3. 陸士)
十年前に—ten years ago.

133. 一昨夜熊本より三哩の村に火事が有りまして家が十五軒全焼しました。(41. 五高)

一昨夜—the night before last.

火事が有つた—a fire broke out.

134. スミス様は今丁度用事ですから、貴方の御用向は何ですか、承る様に頼まれました。(43. 陸士)

73 135. 往來の人の下駄の音も稀になつた鎌倉河岸を、笛の音憐れに流して行く一人の按摩があつた。

笛の音憐れに—piping a pitiful tone.

按摩—a shampooer.

136. 昨日は簞入の事として芝居、活動寫眞、其他の遊び場所は取別け賑はひたり。

簞入—servants' and apprentices' day.

活動寫眞—cinema-shows. 遊び場所—pleasure resorts. 賑はふ—well-patronized, to be.

137. 旭丸は樺太より歸航の途中暴風に遭遇し、豫定より五日間遅れて一昨日午後横濱に入港せり。

(大正 2. 水産)

豫定より五日間遅れて—five days behind the specified time.

138. ハイカラ倶楽部を員一同は昨夜享樂座にて假裝舞踏會を催したり。

ハイカラ倶楽部—the Up-to-date Club と意譯するか又は the Haikara Club. 假裝舞踏會—a fancy ball. 催す—to give. (但し舞踏會を主格

として譯すれば、受身の形 given, to be を用ふ)

139. 東京美術學校は二十九日午後一時半より第二十四回卒業證書授與式を行ひ卒業製作品を陳列する。

東京美術學校—the Tokio Fine Art School.

卒業證書授與式—ceremony of granting diplomas.

卒業製作品—the graduating manufactures.

140. 此度當市では山田さんが衆議院議員に當選しました。彼のお方は學問もあり、人物も立派だと叔父は申して居ます。(大正 2. 高)

衆議院議員—member of the House of Representatives. 學問がある—of profound learning.

人物の立派な—of fine character.

第五講
命令體及感嘆體

[13] 命令體

[A] 普通の命令體

普通の命令體の形式を次の譯例に示す。

【譯例】

1. 帽子を釘に掛けてお置きなさい。
Hang the hat on the peg.
2. どうでも勝手になさい。
[a] Consult your own convenience.
[b] Do as you please.
3. 此着物がお前に似合ふか知ら。ちよつと着て御覽。
I wonder if this garment becomes you. Just try to put it on.
4. どうか御遠慮無く召上つて下さい。
Please help yourself to it.

[B] Let を用ふる命令體

Let を用ふる命令體の形式を次の譯例に示す。

【譯例】

1. 女中^{マズメ}を寢せるが良い。
Let the maid go to bed.
2. 此道を通つて歸りませう。
Let us go home by this road.
3. 葉書で試験の成績を知らせて下さい。
Please let me know of my marks by post-card.
4. 荷物を二階へ持つて行け。
[a] Let the baggage be carried upstairs.
[b] Carry the baggage upstairs.

[C] 條件的命令體

命令體を用ゐる時には、『何々して御覽なさい。さうすれば斯々だ。』の如き條件的の意味を表す場合がある。

【譯例】

- ① 突當つて右へお曲りなさい。さうすれば、お尋ねの家が有ります。
Turn to the right at the end of this road, and then you'll find the house you are looking for.
2. 子供^{ワツチキ}を打捨らかして置いて御覽なさい。屹度やくさな人間になつて仕舞ひます。
Let your child have its own way, and then it may be sure to become a good-for-nothing fellow.

練習題

141. 竿に其れを掛けよ。(44. 陸士)
竿—a pole 又は a rod.
142. 貴方の宜しい様になさい。(大正 2. 海兵)
143. 此馬は見た所より善う御座います。ちよつと乗
て御覽なさい。(40. 陸士)
乗る—to ride on.
144. 何卒電報でお知らせ下さい。(41. 海機)
電報で—by telegraph.
145. さア之から博覽會へ参りませう。(40. 外語)
博覽會—the exhibition.
146. 御母上様に宜しく言つて下さい。(大正 4. 海機)
147. 眞直においでになれば右側に學校があります。
(大正 4. 廣島高師)
眞直に行く—to go straight on.
右側に—on one's right (hand).
148. 己惚れて自分を^{リョウ}憐憫だ^ンぞと思ふと必ず他人に
馬鹿にされる。
己惚れて—in one's conceit.
馬鹿にする—to make a fool of.
149. 出来る丈け凡ての學科を勉強なさい。そうすれば
立派な學者に成れるでせう。
學科—subject. 立派な學者—a thorough scholar.

150. 暫時公園を散歩して來給へ。さうすると朝飯が甘
く食へるから。(大正 4. 廣島高師)
暫時—for a little while.
散歩する—to take a stroll. *to take a walk.*
甘く食へる—can do ample justice to.

[14] 感嘆體

感嘆體の形式を次の譯例に示す。

the house is better than
【譯例】

1. 何てまア良く氣の變る人だらう。
What a changeable person he is!
2. 誠に結構な御料理で御座います。
What nice dishes you have!
3. まるで以前とは打つて變つた良い人間に成つたぢ
や御座いませんか。
What a wonderful change for the better there is in
his character!
4. 之は好い所でお目に掛りました。
How fortunate that we've met you!

練習題

151. 何とまアお芽出度の事ではありませんか。
(39. 外語)

お芽出度い事—a joyful thing.

152. 爛熳たる櫻花の上に積雪とは實に奇觀だ。(42. 專)

爛熳たる—in full bloom.

奇觀—a wonderful sight.

153. 先日僕の處へ見ず知らずの人が金を借りに來たが、
随分蟲の好い男だ。(41. 一高)

見ず知らずの人—an entire stranger.

金を借りに來る—to come to ask for a loan of
some money. 蟲の好い—impudent.

154. 憎らしき雨ならずや。たまさかの日曜を何處へも
出られず、お互に閉口致し候。(40. 高工)

憎らしき—hateful. 閉口—provoking.

155. 近來維新の元勳が續々逝去せらるゝは何と悼まし
い事ではありませんか。(40. 外語)

維新の元勳—veteran statesmen of the Restoration.

逝去せらる—to pass away. 悼ましい事—pitiful.

第六講

比較法

[15] 比較級の場合

事物を比較して、其間に於ける相對的の大小、多少、優劣、異同等を論ずるに方つて、積極的の語法と消極的の語法と兩様の言表し方がある。

[A] 積極的語法

上に述べたるが如く、相對的の大小、多少、優劣、異同等を論ずるに方つて、積極的に『甲は乙に優りて……なり』『乙は甲に劣りて……なり』と謂ふ場合は即ち比較級を表す積極的語法である。其用例を次に示す。

【譯例】

1. 地球は月より大なるも太陽より小なり。

The earth is **larger than** the moon, but **smaller than** the sun.

2. 彼人は僕より五ツ年が多い。

[a] He is five years **older than** I.

[b] He is **older than** I by five years.

3. 今年は昨年より寒さが厳しう御座います。

[a] The cold is **more** severe this year **than** last.

[b] It is **colder** this year **than** last.

[c] This year is **colder than** last.

4. 貴方の俸給は彼人のから見れば、比較にならない程多額です。

Your salary is **incomparably bigger than** his.

5. 貴君は政治家と軍人と何方に成り度う御座いますか。私は寧ろ政治家に成り度う御座います。

Which would you rather be, a statesman or a soldier?

I would **rather** be the former (**than** the latter).

[B] 消極的語法

前述の積極的語法と異なり、消極的に『甲は乙に劣らぬ程……なり』『乙は丙程……ならず』と謂ふ場合は、即ち比較級を表す消極的語法である。其用例を次に示す。

【 例】

1. 口程でも無い奴だ。

He is **not such** a great man **as** he makes out himself to be.

2. 彼は出来る事は出来るが、人が褒める程ではない。

He is certainly learned, but **not so** learned **as** he gets the credit of being.

3. 獨逸語は英語程六ヶ敷く無い。

German is **not so** difficult **as** English.

4. 彼女は母親に劣らぬ程の美人だ。

She is **not less** beautiful **than** her mother.

練習題

156. 猫は其形鼠より大なるも犬より小なり。

(40. 山口高商)

157. 言はぬが言ふに優る事あり。(41. 仙臺高工)

……の事あり—sometimes.

158. 彼は僕等より二三年前に彼學校を卒業しました。

(44. 海兵)

卒業する—to graduate from the school.

159. 余は小説家と成るよりも寧ろ詩人とならむ。

(41. 外語)

小説家—a novelist. 詩人—a poet.

160. 夏の暑さよりも冬の寒さの方が僕には餘程凌ぎよ

い。(45. 高)

夏の暑さ—the heat of summer.

凌ぎよ—bearable.

161. 君は手で飯を食ふよりは、頭で飯を食ふのは好き

であるか。(42. 商船)

手(頭)で飯を食ふ—to earn one's bread by hands (brain).

7.4
162. 下らぬ雑誌や書籍に費す一時間よりも新聞に費す一時間の方が遙に有益である。

下らぬ—good-for-nothing. 雑誌—journals.

• 163. 夫れでは貴方は丁度四十一歳ですか。私よりは三歳上だが御年齢よりは餘程若く見えますな。(41. 商船)

三歳上—one's junior by three years.

若く見える—to look young.

164. 昨日陸軍飛行隊は所澤飛行場に於て飛行演習を行ひ、豫期以上の好結果を収めたり。

陸軍飛行隊—the military aviation corps.

飛行場—the aviation ground.

飛行演習—aviation exercise. 行ふ—to conduct.

165. 彼は彼の兄程富裕でない。(43. 海機)

富裕—rich.

166. 私は彼人の様に能く英語を話す事は出来ません。

(42. 大阪高工)

167. 之は大きな軍艦ではあるが金剛程大きくない。

(大正3. 海兵)

168. 高等學校の入學試験は評判程六ヶ敷くは有りません。(42. 高)

評判程—as it is reported to be.

169. 春秋は汽車及汽船も雑沓致しません。又塵も夏よりは立ちません。(40. 商船)

塵—clouds of dust. 立つ—raised, to be.

170. 東京の寒さは如何に厳しくとも、北海道又は樺太の寒さ程ではない。(43. 商船)

厳しい—severe. ……程ではない—cannot be compared with……

171. 雑誌は専門の職業雑誌とか、學術雑誌の外は、食物で云ふと、間食的の菓子に過ぎぬ。

専門の職業—special profession.

學術—science. ……の外は—except.

○間食的の—eaten between meals.

172. 熱田は外國貿易の爲近頃開港されましたが、神戸の様に盛に貿易は行はれますまい。(42. 神戸高商)

外國貿易—foreign trade.

開港される—opened, to be.

盛に—prosperously. 行はれる—carried on, to be.

173. 魚は獸肉に劣らぬ程滋養分を有する食物なり。

(41. 水産)

獸肉—flesh. 滋養分—nutriment. 食物—food.

174. 昨日の暴風雨にて、電線の切斷されしもの、東京のみにて千五百ヶ所を下らずと云ふ。

暴風雨にて(の爲に)—owing to the storm.

電線—telegraph wires. 切斷せらる—broken, to be ……を下らず—no less than……

[16] 最上級の場合

凡そ事物の形状、性質、數量、程度等に關する最上級を表すに方り、一般的の語法と比較級的の語法との兩様の言表し方がある。

[A] 一般的語法

一般的の語法としては、最上級の形容詞又は副詞 (Superlative Adjective or Superlative Adverb) を作成して、事物の屬性、數量、程度等に關する最上級(若しくは絶對級)を表すのである。其の範例を次に摘示する。

【譯 例】

1. 淺草は東京で最賑やかな場所です。
Asakusa is **the most** bustling place in Tokio.
2. 春咲く花で最良いのは櫻です。
The cherry is **the sweetest** flower that blooms in spring.
3. 彼は末の男の兒を最可愛がつて居ります。
He loves his **youngest** son best.

4. 相手にならないのが一番良いと思ふ。

I think it **best** not to take his words seriously.

[B] 比較級的語法

前説の一般的語法以外に、次の譯例にも示すが如く、比較級的の語法を用ひて、而も最上級を表す場合がある。

【譯 例】

1. 誰よりも彼人が一番勉強する。
No one is more diligent **than** he.
2. 女に欺される程馬鹿げた話はない。
There is **nothing so** stupid **as** being taken in by a woman.
3. 死ぬ程厭やな事は無いと彼が申しました。
He told me that there was **nothing so** disagreeable to him **as** death.
4. 譬へ様も無い程の慾張りです。
There is **nothing to be compared with** his avariciousness.
*Compared to 女何と云ふか
— 此、比較級、— with 比較級、*
5. 英語に掛けては誰にもひけを取らない積りです。
I flatter myself that I am **second to none** in English.

練習題

- 2.5
175. 君はお友達の中で誰が一番好きですか。(40. 高)
お友達の中で—of your friends.
176. 高等工業学校へ行くには之が一番近道です。
(43. 仙臺高工)
高等工業学校—the Higher Technical School.
近道—a short cut.
177. 九州鐵道の寢臺車が一番乗心地が好い。
(44. 長崎高商)
寢臺車—the sleeping-car.
乗心地が好い—comfortable.
178. 第一章と第二章とは全篇中で一番面白い。
(42. 水産)
章—chapter. 全篇中で……of all in the book.
179. 今迄読んで居た中で此小説が一番面白かつた。
(41. 海機)
180. 外國語に熟達するには其國語の話さるゝ國へ行つて修業するのが一番です。(大正4. 神戸高商)
熟達する—master. 修業する—to study.
181. 正直と忍耐とは如何なるものよりも多く吾人の成功を扶くるものである。(39. 仙臺醫專)
正直—honesty. 忍耐—perseverance. 如何なるものよりも多く—above all.
182. 僕は海さへ荒れなかつたら、船で旅をするのが一番良いと思ふ。(42. 商船)

- 荒れない—calm. 船で旅をする—to travel in a ship.
183. 山口教授は高等学校で頗る評判の好い先生です。
教授—professor. 評判の好い—popular.
184. 空氣は地球の表面上如何なる處にも存在し、吾人の生活上最必要なるものなり。(42. 高工)
表面上—on the surface of.
如何なる—any and every.
必要—essential.
185. 伊藤公爵の悲劇的最期は到る處至深なる同情の念を以て迎へられたり。
公爵—Prince. 悲劇的最期—the tragic death.
同情の念—sympathy.
186. 英和辭書と和英辭書はどんなのを買うたら宜いかと度々生徒に聞かれますが何と答へませうか。
(42. 高商)
英和辭書—the English-Japanese dictionary.
和英辭書—the Japanese-English dictionary.
買うたら良い(=買ふのに最良い)—best for a person to buy.
187. 獨立の精神が何より大切である。(40. 長崎高商)
獨立の精神—the spirit of independence.
188. 何よりも健康は軍人に必要であります。(40. 海機)
健康—good health.

189. 人は己れの責任を盡すが何よりも肝要である。

(大正 2. 山口高商)

責任—duty. 盡す (=果す)—to discharge.

190. 日本の歴史中に戦争は数多くありしも、日露戦争は其の尤も著しきものである。(40. 高商)

日本の歴史中—in the history of Japan.

日露戦争—the Russo-Japanese war 又は the war between Japan and Russia.

191. 春の晴れた日に海岸を散歩する程愉快な事はない。(45. 醫専)

晴れた日—a clear day. 海岸—the seashore.

散歩する—to take a walk (stroll).

愉快—delightful.

192. 今年程火事と地震の多い年は無からうと思ひます。(39. 高商)

193. 時間の少い仕事の多い世の中には端書位簡単な音信法は無い。(40. 山口高商)

端書—the postal card.

音信法—method of correspondence.

194. 近頃歐米を漫遊して歸つた友人が、何處へ行つても日本程懐しい處は無いと云つて居た。

(44. 名古屋高工)

歐米漫遊—a tour through Europe and America.

懐しい—lovely.

195. 此著作物程品性陶冶の上に與つて力あるものは無からう。(42. 長崎高商)

著作物—work. 陶冶—cultivation.

與つて力ある—to do much good to....

196. 朝起きて看れば一面の銀世界其壯觀譬ふるにもの無し。(44. 専)

銀世界—the landscape covered with a silver mantle of snow. 壯觀—the beauty and grandeur of the scene.

197. 私は職務に忠實なる點に於ては、誰にも譲らないと確信して居ます。(45. 熊本高工)

忠實—faithfulness.

.....の點に於ては—with respect to.

31. Jan. 1917

第七講 可 成 法

本講に於ては、可成法助動詞 may; might; can; could; must; should; would 等の用法を説く。

[17] may の用法

may は、大體に於て、次の諸種の場合に用ゐられる。

- (イ) 『...かも知れぬ』の意味を表す場合。
- (ロ) 『(A) かも知れぬが(又は (A) であるとも), (B) の事はない』の意味を補助する場合。
- (ハ) 鄭重に物事を請願する場合。
- (ニ) 物事に就て人に自由を與ふる場合。
- (ホ) 目的を示す場合。
- (ヘ) 祈願, 願望等を表す場合。

【譯 例】

1. 風が止んだら今夜は霜が降るかも知れない。(イ)
We may have frost to-night, if the wind goes down.
2. 君は物を拾ふとも、落す事はあるまい。(ロ)

You **may** pick up things, but you will never drop anything, I think.

3. 答案を鉛筆で書いても宜しう御座いますか。(ハ)

May I write the answers with a pencil?

4. 御免倒でも三越へ行つて、縮緬の良いのが有るか聞いて下さいませぬか。(ハ)

May I trouble you to go } to Mitsukoshi's, and ask
Would you kindly go } whether they have any good crape?

5. 明日は奥様に御目に掛れる様御取計らひを願ひ度う御座いますか。(ハ)

May I ask you to procure me an interview with your lady to-morrow?

6. 何れでもお好きなのをお取りになつて宜しう御座います。(ニ)

You **may** take what you like.

7. 彼は座席を獨占めにする爲に、絶えず肘を突張つて居りました。(ホ)

He was pushing out the elbow all the time in order that he may occupy the seat by himself.

8. 道中の用心に藥を差上げませう。(ホ)

I will give you some medicine **that** it **may** be of use to you in the course of your travel.

9. 面白く旅行し給はん事を。(へ)

May you have a happy travel.

[18] might の用法

may の過法 might が、特別に用ゐらるゝ場合を挙げれば、前項(イ)に於ける may の用法と同じく、『……かも知れぬ』の意味を表す場合、又(ハ)に於ける may の用法と同じく、鄭重に物事を請願する場合、或は又『…したつて宜ささうなものだ』の如き意味を表す場合等である。

【譯 例】

1. 彼は勉強したら及第するかも知れぬ。

He might pass the examination, if he study hard.

2. 申し兼ねましたがお手拭を一寸拜借出来ませうまいか。

[a] Might I ask you to lend me your towel for a moment?

[b] Could you kindly lend me your towel for a moment?

[c] I should like to borrow your towel for a moment.

3. 貸して呉れたつて宜ささうなものだ。たつた拾圓だのに。

You might lend me the money very well; it is only ten yen.

練 習 題

198. 此頃外國で柔道が大分流行して居るが之も日露戦争の影響かも知れぬ。(41. 一高)

流行する—to be in vogue. 影響—the effects.

199. 『或は貴君の想像が當つて居るかも知れませぬ』と一人の春の低い男が云ひました。(41. 名古屋高工)

想像—conjecture. 當る—to hit the nail. 春の低い—short.

200. 或人は日本の歴史は模倣の歴史であると云ふかも知れぬ。併し日本人は單に模倣のみをやつて居つたのでは無い。(45. 神戸高商)

模倣—imitation.

201. 此上衣は僕には少し大き過ぎるが、君には良く似合ふかも知れん。一寸着て見給へ。(大正 3. 高)

大き過ぎる—too big for a person.

似合ふ—to suit 又は to be fit for.

202. 其問題は少し六ヶ敷いかも知れぬが一生懸命にやれば出来ない事はあるまい。(大正 2. 海經)

少し六ヶ敷しい—a little difficult.

一生懸命にやる—to try very hard.

203. 會へ出席致すかも知れませんが、確とはお請合出来ません。

會—meeting. 出席する—to be present at.

請合ふ—to say for certain.

204. 私は左様申したかも知れぬが、一向覚えが無い。

覚え—recollection.

205. 之より高く掛るとも、^{トテ}逆も安くは出来ない。

之より高く掛る—to cost more than this.

之より安く掛る—to cost less than this.

206. 君は何故あんな藪醫者に見て貰ふのだい。彼奴は病人を殺すとも癒しやアしないぜ。

藪醫者—a quack. 見て貰ふ—to consult.

病人—a patient. 癒す—to cure.

207. 太平無事と謂ふ社會上の繁榮は、藝術を理解する聽衆をこそ作出せ、必ずしも創作の天才を産まぬ。

太平無事—quiet and peaceful. 繁榮—prosperity.

作出す—to give birth to. 天才—a genius.

創作—creation

208. 明日参つても差支へありませんか^{チョツト}鳥渡尋ねて下さい。(43. 海兵)

...ても差支へないか尋ねる—to ask whether one may.... 鳥渡—just.

209. 御免倒乍ら御序に之を御尊父様へ差上げて下さいませぬか。(43. 仙臺高工)

御序に—when (you) see (your father).

210. 本校の學生は清韓獨露の中一國語を選ぶ事を得。(41. 長崎高商)

清韓獨露(國語)—the Chinese, Korean, German, and Russian languages. 選ぶ—to choose.

211. 胡蝶は花の精ともいふべきか。(45. 米澤高工)

212. 私は一番汽車に間に合ふ様にと早く起きた。

(41. 仙臺醫專)

一番汽車—the first train. 間に合ふ—to be in time for.

213. 君の成功を祈る。(45. 長崎高商)

214. 希くば高潔にして有力なる新聞雑誌の世に出でん事を。(41. 外語)

高潔—candid. 新聞雑誌—papers and journals. 世に出る—started, to be.

215. 先生は彼んなに酷く僕を叱らなくたつて宜そさうなものだ。大して悪い事でもないのに。

酷く叱る—to scold a person severely.

悪い事—an evil thing.

216. 一緒に行つたつて宜いでせう。僅か半道かそこの道程ですに。

[19] can の 用 法

『僕は泳ぎが出来る』 I can swim. 『僕は英語を喋舌れぬ』 I cannot speak English. に於けるが如く can が可能不可能を表す場合は尤普通であつて、別設茲に詳述する

迄も無い事である。故に本項には can が not と結付いて『……の筈が無い。』の意味を表す特別の場合を摘示する。

【譯 例】

お父さんをそんなに酷くするからには、孝行息子の筈が無い。

[a] He **cannot** be a dutiful son to treat his father so cruelly.

[b] He **cannot** be a dutiful son; if he were one, he would not treat his father so cruelly.

練 習 題

217. こんなに短い詩さへ暗誦し損なつたから善い記憶力の有る筈が無い。

暗誦する—to recite. し損ふ—to fail to……
善い記憶力—a good memory.

218. 住む人も住む人も病気になるのですもの。彼處が體に良い筈は有りません。

病気になる—to get ill. 體に良い—healthy.

219. 此本は英人が書いたのではあるまい。英人は決して此んな語の使ひ方はしない。

英人—an Englishman. 語の使ひ方—expression.

188

188

[20] must の 用法

[A] 『必ず……しなければならぬ』の如き拘束又は負擔を表す場合に、must を用ふる。而して此場合には、同じ意味にて have + infinitive の形を用ふる故、兩者共に、次の譯例に摘示する。

【譯 例】

1. 今晚中に此作文を拵へて仕舞はなければならない。

I { have to } finish this composition in the course
 { must } of this evening.

2. 斷り無しに人の物を持出してはならぬ。

You **must not** carry away anything of others without leave.

[B] 『……に相違ない』の如き意味を表す場合にも亦 must を用ふる。

【譯 例】

1. 貴君は何處かお悪いのでせう。ちよつとも召上らない様ですから。

【譯例】

1. 生徒が先生の言ふ事に反對するものではない。

Pupils $\left\{ \begin{array}{l} \text{should not} \\ \text{ought not to} \end{array} \right\}$ oppose the words of their teacher.

2. 實際彼人の世話になつたのなら何時か恩返しをしなければなりません。

You $\left\{ \begin{array}{l} \text{should} \\ \text{ought to} \end{array} \right\}$ repay his kindness some time, if you really owe it.

[B] 意外の心持を表す場合にも亦 should を用ふる事がある。

【譯例】

- 彼男があんなに偉くならうとは夢にも思はなかつた。

I (have) never dreamed that he **should** make such a great man.

[C] 豫測豫想を表す場合に屢々 should を用ふる。之と同じ意味にて could を用ふる事もある故兩者共に次の譯例に示す。

【譯例】

1. 彼は近頃健康が勝れないから、そんな激しい労働には堪へますまい。

He $\left\{ \begin{array}{l} \text{could not bear} \\ \text{should not be able to bear} \end{array} \right\}$ such a hard labour; he is not very well lately.

2. 萬一失敗しても又來年やつて見ます。

If by any chance I **should** fail, I would try again next year.

[D] 目的を示す should の用例を次に示す。

【譯例】

輕蔑されない様に毎でも體裁良く着飾つて居た。

He kept his dress respectable **lest** others **should** despise him.

練習題

228. 今日爲すべき事を明日迄延ばすべからず。

(39. 山口高商)

延ばす—to put off.

229. 健康に注意するは我々學生の義務である。

(40. 仙臺醫專)

に注意する—to pay (great) attention to.

230. 就褥の際には必ず消燈すべし。(39. 長崎高商)

消燈する—to put out the light.

231. 酒と煙草は養生に害あり。此一句は學生たる者の常に記憶し置くべき金言である。(39. 山口高商)

酒と煙草—drinking and smoking; liquor and pipe.

養生に害あり—injurious to health.

記憶する—to remember.

232. 人は一旦自分の目的を樹てた以上は、飽く迄之を貫徹するの決心を持つて居なければなりません。

(大正 2. 專)

一旦……した以上は—if……at all.

目的を樹てる—to fix one's purpose.

飽く迄貫徹する—to accomplish……thoroughly.

決心を持つ—to make up one's mind.

233. 歐洲の大戦亂は我國の工業に多大の影響を及ぼした。吾人は宜しく此時に於て、内地品の製産に奮勵すべきである。(大正 4. 大阪高工)

多大の影響を及ぼす—to have much influence upon.

内地品—home products.

製産—manufacture.

234. 苟くも支那政府にして、東洋の平和を念とし、日支提携の必要なる所以を了解したらんには、我國の要求を拒絶すべからざる筈なり。

支那政府—the Chinese Government.

念とし—anxious about, to be. ……の必要なる

所以を了解する—to understand the necessity of.

要求—demand. 拒絶する—to reject.

235. あんな丈夫な男が病氣になつたとは不思議だ。

(41. 六高)

丈夫—robust. 病氣になる—to fall ill.

不思議—strange.

236. 圓城寺君があんな事をしようとは夢にも思へませんでした。(40. 神戸高商)

あんな事—such a thing.

夢にも思はなかつた—have never dreamed.

237. 此處でお目に懸らうとは夢にも思ひませんでした。(40. 陸士)

238. そんな事になるだらうとは夢にも思はなかつたから少からず驚きました。(45. 東北農)

驚く—surprised, to be.

239. まさか彼女の前でそんな事は云へないでせう。まさか—for the life of one.

240. 君は出来ると云つたが君の出来ぬ事は良く知つて居る。

241. 私が萬一今日死んだならば、私の家族は餓死するでせう。(大正 2. 米澤高工)

餓死する—to starve to death.

242. 今日の様子なら明日は雨が降る事は無いと思ふが萬一雨天でも必ず出立致します。(大正 2. 水産)

……の様子なら—by the appearance of. ……

243. 寒くなつたから風を引かぬ様に注意せよ。

(39. 千葉醫專)

風を引く—to take cold. 注意せよ—take care.

④ 244. 病氣に罹るといけないから過度の労働はせぬが宜しい。(40. 山口高商)

病氣に罹る—taken ill, to be.

過度の労働をする—to overwork oneself.

245. 最早七時四十五分過でありますから、汽船に乗遅れない様に急いで居ります。(大正4. 長崎高商)

最早—already. 乗遅れる—to miss.

急ぐ—to make haste.

[22] would の用法

[A] 前に might 又は could が、鄭重なる請願を表す場合に用ゐられる事あるを示したが (§ 18 譯例 2 参照), would にも之と全く相同とき用法がある。其用例を次に示す。

【譯例】

1. 御序が御座いましたら、校長さんに此手紙をお届け下さいませんか。

Would you kindly deliver this letter to your schoolmaster if you have an opportunity?

② 濟みませんが此行李を一寸縛つて戴けますまいか。

[a] Would you just be so $\left\{ \begin{array}{l} \text{kind} \\ \text{good} \end{array} \right\}$ as to tie up this trunk for me.?

[b] I should be greatly $\left\{ \begin{array}{l} \text{obliged} \\ \text{pleased} \end{array} \right\}$, if you will kindly tie up this trunk for me.

[B] would の用法には又、次の譯例にも示すが如く、常習若しくは慣行爲を表す場合がある。

【譯例】

夕食が済むと妻君同道で散歩するのが常だ。

After supper, he would take a stroll with his wife.

[C] would は又、次の譯例にも示すが如く、意望即ち望ましき意味を表す場合に用ゐられる。

1. 彼人に身を任せる位なら死んだ方が増した。

I would rather die than put myself at his disposal.

2. 彼んなにお喋り^{シヤベ}で無ければ誠に良い女だが。

If she would not chatter so much, she would be a nice woman.

【註】 本例に於ける二番目の would の性質は、後に條件法を述ぶるに方りて闡明すべし。

練習題

246. 此手紙を銀行の頭取に持つて行つて返事を貰つて

来て下さい。(45. 熊本高工)

銀行の頭取—the President of the Bank.

返事を貰つて来る—to get an answer.

247. 私の番號が及第者中にあるか電話でどうぞ御知らせ下さいませんか。(41. 高商)

番號—number. 及第者—the successful applicants for admittance. 電話で—by telephone.

248. 御閑暇に候はゞ、明朝十時に拙宅へ御光來下され度候。(大正 2. 大阪高工)

御閑暇に候はゞ—if you are free.

249. 明日午後五時迄に是非御來臨被下度候。

(大正 2. 海機)

五時迄に—by five (o'clock). 是非—without fail.

250. 何時でも作文は僕に直して貰ふのが常であつた。

作文—a composition. 誰々に直して貰ふ—
have a person }
get a person to } correct.....

251. 小學校に通つて居た時でも、屢首席を占めて居た。

小學校—a primary school. 首席—the head seat of the class. 占める—to occupy.

252. 一つ良い時計が欲しいけれど買ふ丈の餘裕が無い。

餘裕がない—cannot afford to.....

253. 彼んな醜い女と結婚する位なら、獨身が増した。

醜い女—an ugly woman, 獨身—a single life.

254. 向方で言ふ事を聞くな、意見をしても遣らうが。

意見をする—to give advice.

255. そんなに酒を呑まなかつたら左様病身でもあるまいに。

そんなに酒を呑む—to drink so much.

病身—sickly.

3. Feb. 1917

第 八 講 時 の 表 示

1. 時の區劃 (甲) — 基本的區劃

[23] 現 在

[A] 一般現在 (The Present Indefinite)

普遍的事實又は常習を表す場合には一般現在の形を用ふる。一般現在の形は極めて普通平凡のものであるから、管々しい説明を省き、唯其用例を下に示す丈に止めて置く。茲に注意すべき事は後に述ぶる連続現在を以て表されたる邦語をも、時としては、一般現在の形に英譯する事である。

【譯 例】

1. 商業は平和の戦争なり。
Commerce **is** peaceful warfare.
2. 此湖には魚が澤山居る。
This lake **abounds** in fish.
3. 合衆國の議會はワシントンに集まる。
The Congress of the United States **meets** in Washington.

4. 之は非常な誤である。
This **is** a serious mistake.
 5. 彼は女嫌ひです。
He **is** a { misogynist.
 { woman-hater.
 6. 栃木山は有望な力士です。
Tochigi **is** a promising wrestler.
 7. 彼は足が悪い。
He **has** sore feet.
 8. 彼人は食物の事を大層厳しく言ふ。
He **is** very particular about eating.
 9. 白熊は北の方の寒い處に住んで居ります。
The white bear **lives** in the cold north.
 10. 帝劇には澤山の女優が出て居ります。
A number of actresses **appear** at the Imperial Theatre.
 11. 私の弟は郷里の中學校に通つて居ります。
My younger brother **attends** the middle school in his native province.
- [B] 連続現在 (The Present Progressive)
- 或事實が繼續して現在未完了なる場合に、次の如く、連続現在の形を用ふる。

【譯例】

1. 彼は目下新しい庭を造らへる計畫中だ。
He **is projecting** to make a new garden.
2. 雪が^{マシ}卍字巴と降つて居る。
The snow **is falling** in a whirl *whirl*
3. 三色旗が船尾に翻つて居る。
A tri-coloured flag **is waving** at the stern.

【注意】 次の如く連続現在の形が未來を表す爲に用ゐられることもある。

4. 貴方は近頃に横濱へお出でになりますか。
Are you **going** to Yokohama soon?
5. 嵐がやつて來さうです。
We **are going** to have a storm.
6. 何時お店をお出しになりますか。
When **are you going** to open your shop?
7. 山口さんが今晚お客にお出でになります。
Mr. Yamaguchi **is coming** to dinner this evening.

練習題

256. 日の丸の旗は高く橋頭に翻つて居る。(44. 商船)
日の丸—the rising sun.
橋頭—the mast-head.
257. 快き風が吹き來りて波は起らない。(45. 商船)
快き風—pleasant breeze. 吹く—to blow.

258. 日増しに暑くなります。(43. 海兵)
259. 暑さも漸く日一日と加はり、街頭に翻れる氷屋の旗も夏の近きを感じしむ。(45. 高商)
街頭に翻へる—fluttering on the street, to be.
氷屋—an ice-shop. 近き—near at hand.
260. 私は雪の降る前より降つて居る時の方が暖かに思ひます。(39. 商船)
261. 世界に名高いコツホ先生が來朝して、方々で歓迎されて居る。(41. 一高)
世界に名高い—of world-wide fame. コツホ—Koch. 歓迎される—to receive (a warm) welcome.
262. 或有力なる實業家が外國漫遊者の爲に市内に一大旅館建設の計畫中である。(39. 高商)
有力なる—leading. 實業家—a business man.
外國漫遊者(外人)—a foreign tourist. の爲に—for the sake of. 建設(する)—to establish.
263. 紐育には凡て一萬一千戸の居酒屋が有つて到る處に大繁昌をして居る。
紐育—New York. 居酒屋—a public-house.
繁昌する—to prosper.
264. 彼は明日お宅へ上ると云つて居ました。
265. 私は今晚田中さんの處へ使を遣ります。
今晚—this evening. 使—a messenger.

266. 當夏は餘程暑くなり相で御座います。
267. 貴君の御本は何日御出版になりますか。
出版する—to publish.
268. 御早う御座います。何處に御出向きなさるのですか。(40. 商船)
御早う御座います—good morning.

[24] 過 去

[A] 一般過去 (The Past Indefinite)

現在と分離せる或限られたる時間内の事實を述ぶる場合、即ち廣義の歴史的事實を語る場合には一般過去の形を用ゐる。

【譯 例】

1. 天文は我國の祖先の知らなかつた事でした。
Star-gazing **was unknown** to our forefathers.
2. 綿を^{ウチキ}手切る様な雪が終日降りました。
The snow **fell** in great flakes all day long.
3. ウェリントン^{ウエリントン}はウオタアルウで那翁を撃破した。
Wellington **defeated** Napoleon at Waterloo.
4. 露西亞人から旅順を取るのに澤山尊い血が流されました。

Much precious blood **was shed** in taking Port Arthur from the Russians.

5. 昔我國の若い婦人は筆跡の上達を計るのに大層骨を折つたものだ。

In old days, great pains **were taken** by our young ladies to improve their hand-writing.

6. 西洋で何を御研究になりましたか。
What **did** you **study** in Europe?

7. 叔父さんが先月南洋から立派なお土産を私に持つて来て下さいました。

My uncle **brought** me a very handsome present from Oceania last month.

[B] 連續過去 (The Past Progressive)

或過去の事實が起つた時に他の事實が繼續したる事を述ぶる場合に、連續過去の形を用ゐる。

【譯 例】

1. ^{カゴカキ}駕昇が晝飯を食べて居る内に我々は山へ登つた。
While the coolies **were having** their dinner, we **were climbing** (up) the mountain.
2. 振向く拍子に、後からやつて来る老婆に衝當つた。
On turning round, he bumped up against ~~an old~~ lady who **was coming** from behind. *a very beautiful*

練 習 題

269. 小山には美しき花が咲き、畑には百姓が働いて居た。(43. 盛岡高農)

270. 私が大學を卒業した時は、A 君は外國に留學中でした。(大正 2. 米澤高工)

大學を卒業する—to complete the collegiate course.

外國に留學する—to study abroad.

[25] shall 及 will の用法

本講最初よりの當然の順序としては茲に『未來』なる題目を掲ぐべきであるが、英語に在りては、未來を表すに shall 又は will と謂ふ助動詞を必要とする故、態と『shall 及 will の用法』なる題目を掲げ單に shall 及 will が未來を表す場合のみならず、他の種々特別なる意味を表す場合をも併せて、下に之を説かうと思ふ。

先づ最初に讀者の便宜に備ふる爲、shall 及 will の用法一般を示す表を掲げ、然る後に其一々に就て、詳細なる説明及譯例を施す積りである。

【注意】 次の表中に現れたる敘事體とは Declarative Sentences の事にて、疑問體とは Interrogative Sentences の事を謂ふのである。

		第一人稱	第二人稱	第三人稱
純 未 來 Simple futurity.	敘事體	shall	will	will
	疑問體	shall?	shall?	will?
意 思 Intention.	敘事體	will	will	will
	疑問體	will?	will?	will?
強 制 及 義 務 Compulsion and duty.	敘事體	shall	shall	shall
	疑問體	shall?	shall?	shall?
常 慣 Habitual action.	敘事體	will	will	will
	疑問體	will?	will?	will?

之より漸次に、此表に示したる shall 及 will の用法を細説するのあであるが、第一に敘事體に於ける用法を説き、次に疑問體に於ける用法を述べる事とする。

[A] 敘事體

1. 純未來を表す場合

shall 及 will が純未來を表すと謂ふは、shall 及 will

が純然と唯未來を示すに止まり、意思又は義務などの觀念が介入せざる場合を謂ふのである。然乍ら此場合に、人稱 (Person) の別に依つて、shall, will 孰れを採るべきか、夫々決定せらるゝのである。

即ち、	單數	複數	
{ 第一人稱 (I	; we).....shall
{ 第二人稱 (you	; you).....will
{ 第三人稱 (he, she, it & etc.; they & etc.)).....will

【譯 例】

1. 來春にならなければ、多分お目に掛れませんでせう。

Perhaps I **shall** not see you before next spring.

2. 兩三日の中に試験の成績が分りませう。

We **shall** know the result of the examination in a few days.

3. 彼は貴君の好いお話相手になりませう。

You **will** find him a very pleasant companion to talk with.

4. 多分彼の病氣は癒りませう。

He **will** probably recover his health.

5. 今に雨が止みます。

The rain **will** stop soon.

2. 意思(若しくは決意)を表す場合

主格の意思(若しくは決意)を表す場合には、次にも

示すが如く、各人稱を通じて will を用ふるが原則である。但し之には例外の場合があるが、其事に就ては後段に之を説く。

{ 第一人稱.....will [但し例外の場合あり]。
 { 第二人稱.....will
 { 第三人稱.....will

【譯 例】

1. 明日御覽に入れませう。

I **will** show it to you to-morrow.

2. 命が惜しいから君はやつて來まい。

You **will** not come to me that you may spare your life.

3. 彼奴等は勝手な真似をしたがる。

They **will** have their own way.

【例外】 第一人稱の意思を表す場合に幾分謙遜して將來を豫言する心持で、例へば『御深切は決して忘れません』I **shall** never forget your kindness. の如く原則を破つて shall を用ふる場合が多い。然乍ら更に明確に、相手に自分の約束又は決意を知らしむる時には、原則通り will を用ふるなければならぬ。

3. 義務及命令強制を表す場合

主格の負擔する義務又は主格を拘束する命令強制を表す場合には次にも示すが如く、原則として各人稱共に shall を用ふる。

茲に注意すべき事は、第二人称第三人称の主格が負擔する義務、又は之を拘束する命令強制は説話者 (Speaker) の意思に基く事である。

{ 第一人称.....shall
 { 第二人称.....shall
 { 第三人称.....shall

【譯例】

1. 私は來年息子を學校へやります。

I shall send my son to school next year. [because it is my duty to do so.]

2. 此手紙を花子嬢の處へお出し。(命令)

You shall send this letter to Miss Hanako. [I command you to do so.]

3. 下僕に其荷物を持たして上げませう。

My servant shall carry the baggage for you.
 I will order my servant to do so.]

上に述べたる、第二人称第三人称の主格が説話者の意思に基く義務及命令強制を受くる場合の形式と全く同じく、矢張り shall を用ひて、第二人称第三人称の主格が、説話者の意思に基く好意又は約束を受くる事を示す場合がある。

【譯例】

1. 追つて御返事を差上げませう。

You shall receive a reply from me by and by.
 [=I will give you a reply by and by.]

2. 如何したつて彼を助けて見せる。

He shall be rescued by me by any means. [=I will rescue him by any means.]

【例外】 第二人称、第三人称の主格が義務又は命令強制を受け、或は又好意及約束を受くる事を示すに、何れも shall を用ふべき事は前説の通りであるが、時としては幾分豫言的の心持で、此原則を無視し斯かる場合に will を用ふる事がある。例へば、『お手紙を差上げませう』 You will receive a letter from me. 『七時に講義を始めませう』 My lecture will begin at seven (o'clock). と謂ふ如きは其類である。

4. 常慣を表す場合 意志的対象

主格の常慣即ち慣習的行爲を表す場合には、各人称共に will を用ふべきである。will の過去 would にも斯の如き用法ある事は既に説明した所である。 (§ 22. [B]. 参照)

{ 第一人称.....will
 { 第二人称.....will
 { 第三人称.....will

【譯例】

1. 彼人達は、天氣が好いと毎朝散歩にやつて來ます。

They **will** come for a stroll on every fine morning.

2. 彼老人は、バタ臭い物は何でも排斥します。

That old man **will** condemn anything outlandish.

練習題

271. 明日御返事致しませう。(41. 海機)

272. 明日午後二時過彼件に就き御相談の爲御宅へ伺ひます。(40. 高商)

午後—afternoon. 二時過—after two o'clock.

御相談の爲め—to consult about.....

273. 明日何とか工面して、お金をお届け致しませう。

何とか工面して—manage by any means.

274. 私は往いて彼人に直に歸つて来る様に申しませう。(41. 五高)

歸つて来る—to come back.

275. お前は高等工業學校を卒業したら修業の爲め洋行させてやる。(41. 仙臺高工)

卒業する—to graduate from. 修業の爲め—(in order) to prosecute one's studies. 洋行する—to go abroad.

276. 早稻田對慶應の野球試合は來週大學運動場にて行はるべし。(42. 神戸高商)

對—versus. 野球試合—baseball match. 來週—next week. 大學運動場—the University ground.

277. 飛行器飛行船等の完成は將來の戦争に重大なる影

響を及ぼす。(44. 商船)

飛行器—aeroplane. 飛行船—airship. 完成—perfection. 重大なる影響—much influence.

278. 前大統領 Roosevelt 氏は海外旅行の爲本國を出立したり。氏の歸國は二年後なるべし。

前大統領—Ex-president. 海外旅行の爲—(in order) to travel abroad. 出立する—to set out. 二年後—after two years.

279. 來週私は東京に参りますが、何なりとお求めの品があれば、喜んで買つて上げませう。(42. 海機)

何なりとお求めの品—anything to buy. 喜んで買つて上げませう—I shall gladly be at your service. (意譯).

280. 御早う御座います。私は大阪の伊藤と申す者で御座いますが、御主人は御在宅ですか。在宅です。主人に貴君の御訪問の事を話しますから、御名刺を頂戴致します。(40. 商船)

大阪の伊藤と申す者—one Ito from Osaka. 在宅—at home 又は in. 名刺—card.

[B] 疑問體

1. 純未來を表す場合

疑問體に於て純未來を表す場合の、敘事體に於けると形式を異にする點は、第二人稱に敘事體は will を用ふに反し疑問體に在りては shall を用ふることである。

即ち { 第一人稱.....shall
 第二人稱.....shall
 第三人稱.....will

【譯 例】

1. 私は怪我をするでせうか。
Shall I be hurt?
2. 貴君は罰をお受けになるでせうか。
Shall you be punished?
3. 彼人は死ぬでせうか。
Will he die?
4. 船は直ぐ出ませうか。
Will the ship leave soon?

2. 意思を表す場合

{ 第一人稱.....will*
 第二人稱.....will
 第三人稱.....will

*但し疑問體に於て、第一人稱の意思を表す事は極めて稀である。何となれば、自ら自己の意思を問ふ場合は普通には有り得べからざる事である。

【譯 例】

1. 晚餐を差上げ度う御座いますが、今晚お出で下さいませんか(説話者が相手に、相手其人の意向を質す)。

Will you come and dine with me this evening?

2. 彼人は彼女を貰ふでせうか何うでせうか。(説話者が相手に、第三者の意向を質す。)

Will he marry her, or not?

【例外】動もすれば、『貴君は明日御出向きになりますか』。Shall you go to-morrow? の如く、説話者が相手に相手其人の意思を問ふに方つて、will を用ひず shall を用ふる事がある。之は、其答として、Yes I shall (go) 又は No, I shall not (go) と謂ふが如き豫言的の語 (§ 25. [A]-2. [例外] 参照) を期待して、斯の如き變則の形式を用ふるのであつて、一層強く、相手の意思意向を問質す場合には矢張り、原則通り Will you go to-morrow? の形式を採らなければならぬ。

① 3. 義務及命令強制を表す場合

{ 第一人稱.....shall
 第二人稱.....shall
 第三人稱.....shall

上に示す第一人稱、第三人稱の shall は第一人稱及第三人稱の主格の受くべき義務又は命令強制に就て、説話者の相手 (hearer) の意思を質す用を爲すものである。

【譯 例】

1. 水を持つて来て上げませうか。
Shall I bring you a glass of water? [=Do you wish me to do so?]

2. 何處へ私の床を展べませうか。

Where **shall** I make my bed? [=Where ought I to make my bed?]

3. 貴君は明日學校へお出でになりますか。

Shall you go to school to-morrow? [=Are you compelled or ordered to go.....?]

4. 婦人連が先へ乗船するのですか。

Shall the ladies embark before us?

5. 彼人は來年月給を増して貰へるのですか。

Shall he receive an increase of salary next year?

4. 常慣を表す場合

疑問體に於て常慣を表す場合は、各人稱共に will を用ふる事、敍事體に於けると毫も異なる所無き故別段茲に其形式及用例を示さぬ。

練習題

281. 貴君は此夏中何處へか旅行なさいませうか。

(40. 商船)

此夏中—during this summer. 何處へか—some-where.

282. 明日午後參上致し度いのですが御在宅でせうか。

(41. 五高)

參上する—to call on.

283. 夏の極く暑い日君は山と海岸と何れに行き度いのですか。(41. 東北農)

山—the mountain. 海岸—the seashore.

284. 來る試験で校長は幾人生徒を入學させる積りでありませうか。(41. 陸士)

校長—the principal. 入學させる—to admit a person to the school.

285. (彼人の了簡が分り次第お知らせなまつて下さいませうか。(39. 陸士)

了簡—purpose次第—as soon as.....

286. 君の友人の山田君に面會し度いのですが、紹介狀を書いて下さいませうか。(44. 東北農)

紹介狀—a letter of introduction.

[26] 格段なる未來の形式

之迄述べ來りたる shall 及 will の用法に依つて、一般未來の形式は自ら明になつた事と思ふ。

次に、格段なる未來の形式を摘示する。

[A] 連續未來 (The Future Progressive)

將來一定の時限に或事實が繼續して起ることを表す場合には、次の如き連續未來の形を用ふる。

【譯例】

- 今夜は、此様に酷く降つて居りますまい。
It **will not be raining** so hard as this to-night.
- 來月の中頃には彼人は旅行をして居りませう。

He **will be travelling** about the middle of next month.

3. 來週御宅へ御伺ひする頃には御歸郷中で御座いませうか。

Shall you be returning home when I call at your house next week?

[B] 現在動詞の未來代表

if; when; while; after; before; as soon as 等の語に依つて率ゐらるゝ、未來を指示す副詞體の Clause が文章中に在る時には、該 Clause 中の動詞は未來の代りに現在の形を採る。

【譯 例】

1. 眼がお覺めになつたら屹度お痛みも薄らぎませう。

When you **wake up**, I am sure you will have less pain.

2. 直ぐ着物を着換へれば、風邪を惹きませぬ。

We shall not catch cold, if we **change** our clothes at once.

【例外】 前述の Clause 中に於て、其主格の意望を表す場合には、助動詞 will を用ふる。然し乍ら此 will は、未來を示す性質のものに非ずして、§25 [A]-2 に於て説明したる意思を表す will なる事は勿論である。

【譯 例】

1. 萬事お任せ下されば直ぐに始めます。

If you **will** leave it entirely to me, I will begin at once.

2. 貴君が手紙を書いて下されば、誠に有難い。

If you **will** write a letter for me, I shall be very grateful.

練 習 題

287. 來月の中頃には小金井の櫻も咲き掛るでせう。

咲き掛る—to come into bloom.

288. 警察の手が廻る頃には其犯人は最早亞米利加へ高飛びをする途中だらう。

警察—police. 犯人—the offender. 高飛びをする—to levant.

289. 明日天氣ならば學校の歸りに君の宅へ行くよ。

(41. 六高)

學校の歸りに—on one's way home from school.

290. もつと運動なさい。左様しないと丈夫になれませぬ。

(43. 新潟醫專)

運動—exercise. 丈夫になる—to become strong.

291. 私は田舎へ參る時妻を連れて参りませう。

田舎へ參る—to go into the country.

292. 私はもつと勉強せねば兄さんの様な善い學生には成れない。(43. 醫專)

もつと勉強する—to work harder. 兄さん—elder brother. 善い—nice.

293. 君が成功するならば僕等は君の爲に宴會を開かう。

宴會を開く—to give a banquet.

294. 京都に逗留の間は美術の研究が出来ませう。
美術—fine art. 研究が出来る—able to study.

295. 期限が来たら早速彼人は免職になるでせう。

免職になる—dismissed, to be.

296. 一月も経たぬ中に多分又變つた風が流行りませう。

經つ—to pass. 多分—probably. 變つた風—new fashion. 流行る—to be in vogue.

297. 彼人はお父さんが亡くなられた後は金持になりませう。

金持—a rich man.

298. 誰か尋ねて来たら、梅見に行つたから歸りが遅くなると云つて呉れ。(42. 神戸高商)

梅見に行く—to go to see plum-blossoms.

299. 此邊に腰を掛けて書物でも讀むで居れば如何なる夏でも炎熱を覺えない。(42. 商船)

此邊—hereabouts. 腰を掛ける—to take a seat.

炎熱—the heat. 覺えない—insensible.

II. 時の區劃 (乙) —完了的區劃

[27] 現在完了

[A] 現在完了 (The Present Perfect)

次に列挙する諸種の場合に現在完了の形を用ふる。

【譯 例】

1. 或事實が現に完了したる場合。 *just*

貴方達が其んな悪い事をしない様に今此お話をお聞かせしたのですよ。

Now I **have told** you this story in order to caution you against such an evil thing.

【譯 例】

2. 或事實の行はれた時期が現に尙繼續せる場合。 *since*

今年は大事件が澤山ありました。

Great events **have** so frequently taken place this year.

【譯 例】

3. 或事實の効果が尙今に及べる場合。 *ever*

彼は新しい家を建てました。

He **has built** a new house. (So he has a new house now.)

sch Feb.

【譯例】

4. 過去の経験を述べる場合。

貴君は花屋敷の操人形を御覧になつた事が有りますか。

Have you ever **seen** the puppets at the Flower Garden?

茲に注意すべき事は、或過去の一定の時限を示す語有る場合には、現在完了の形を用ゐず、過去の形を用ふる事である。

【譯例】

私は昨年第一高等學校に入學しました。

I **entered** the First High School **last year**.

【註】但し『私は今年第一高等學校へ入學致しました。』と謂ふ場合には前掲 2. 譯例に示すが如く、現在完了を採りて、I **have entered** the First High School **this year** と譯すべきである。

[B] 連続現在完了 (The Present Perfect Progressive)

以前から繼續せる事實が現に完了したるか又は未尚ほ行はれ居ることを表す爲に連続現在完了の形を用ゐる。

【譯例】

1. 此間から御手紙を差上げようと思つて居まじたが、つひ用事があつて、果せませんでした。

I **have been intending** to write to you for some days, but business has prevented me.

2. 一別以來相變らず御勉強で御座いましたらう。

I suppose you **have been studying** as hard as usual since I saw you last.

練習題

300. 其後未だ一度も便りがありません。(40. 海機)

便がある—to hear from a person.

301. 此んな綺麗な花は見た事が無い。(40. 仙臺高工)

綺麗な花—a pretty flower.

302. 僕は今日停車場迄友人を見送りに行つて來た。

(40. 海兵)

見送る—to see a person off.

303. 醫者はたつた今歸つて行きました。(45. 海兵)

歸つて行く—to go home.

304. 注文した書物が今に着しないのは不審だ。(43. 高商)

注文する—to order. 着す—to reach.

不審—strange.

305. 此書物は丸善書店で求めました。(大正 2. 海機)

306. 彼人は高等工業學校の入學試験を受けて首尾良く及第せり。(43. 熊本高工)

首尾良く—fortunately 或は又 successfully.

307. 僕は風邪を惹いて今日で五日間床に臥つて居ます。其れはいけませんネ。どうか御大切に下さい。

(大正 2. 専)

風を惹く—to have a cold.

床に臥る—laid up, to be.

お大切になさい—you must take good care of yourself.

- 308. 仙臺から一週間前に発送したといふ小包郵便が未だ配達されぬが如何したのでせう。(大正 4. 高商)

○ 発送する—to forward. 配達する—to deliver.

309. 乃木大將は日露戦争で二人の愛子を失はれた。
(39. 醫專)

愛子—a beloved son.

310. 去る日曜日の午前に上野公園に散歩しました。
(45. 海機)

311. 父は昨日旅行より歸つて来て此本を土産に與へました。(大正 2. 陸士)

○ 本を土産に與へる—to make a present of some book.

312. 三日引續いて雨が降りました。(40. 海機)

313. 僕は二時から君を待つて居ました。(43. 高師)
待つ—to wait for.

314. 中學校へ這入つた時から醫學を修業しようと思つて居ました。(43. 醫專)

醫學を修業する—to study medicine.

315. 貴君は英語の秀才でしたが、商船學校に御入學後も引續き英語の御勉強をして居らつしやいますか。
(40. 商船)

英語の秀才—a genius in English.

316. 今日は如何して其んなに急ぐのですか。まだそん

なに立止つて居らないぢやありませんか。まアも少しお待ちなさい。(40. 商船)

急ぐ—to be in a hurry.

も少しお待ちなさい—wait a little longer.

[28] 過去完了

[A] 過去完了 (The Past Perfect)

過去の事實が、同一の文章中に明に記され又は暗に示され居る他の過去の事實の起る以前に、既に完了したる場合には、之れを表すに過去完了の形を用ふる。

【譯 例】

1. 娘は茶碗を壊して了つたので泣いて居ました。

The Daughter was crying, because she **had dropped** a bowl and **dashed** it to pieces.

2. 彼が其地に泊つたのは初めてでした。

It was for the first time he **had stayed** there.

3. 翌日になると、其金が紛失して居ました。誰が盗むたのでせう。

On the next day, the money **had disappeared**.
Who **had stolen** the money?

[B] 連續過去完了 (The Past Perfect Progressive)

或繼續的の事實が、他の過去の事實の起る以前に行は

れたる場合(必ずしも完了したることを要せず)には、連続過去完了の形を用ふる。

【譯 例】

1. 王が即位する迄には永い間戦争が續いて居た。
The war **had long been going on** before the king acceded to the throne.
2. 父が戻る迄私は英語を勉強して居た。
I had been studying English till father came home.

[C] 過去動詞の過去完了代表

after; before; till 又は until 等の語に依つて率ゐらるる副詞體の Clause が、過去の事實を述ぶる文章中に在る時には、何れも、事實が前後して行はれた事を示すものであるが甲の事實が完了して後始めて乙の事實が起つた事を明言する場合を除いては、凡て、過去完了の代に過去を用ふるが通例である。

【譯 例】

1. [a] 新聞を読むでから外出した。
I went out after { I read the newspapers.
 reading the newspapers.
- [b] 新聞を読むで了つてから外出した。
I went out after { I had read the newspapers.
 having read the newspapers.

2. [a] 登校する前に豫習をした。
He **prepared** his lessons before he went to school.
[b] 登校する前に豫習をして丁つた。
He **had prepared** his lessons before he went to school.
3. [a] 獨逸語を始める迄に英語を習つた。
We **studied** English until we began German.
[b] 獨逸語を始める迄に英語を習つて了つた。
We **had studied** English until we began German.

練 習 題

317. 此事は思つたよりも易かつた。(46. 海兵)
.....よりも易い—easier than.....
318. 次の列車迄四時間も待たねばならなかつた。(39. 海兵)
次の列車—the next train.
319. 波止場へ行つたら船は出て仕舞つて居た。(44. 海兵)
波止場—the pier.
320. 私が今朝學校へ参つた時には既に始まつて居りました。(40. 海兵)
321. 自分は十日も待つて居たのに他人は遂に來なかつた。(40. 高)
十日も—for ten long days. 遂に—after all.
322. 警察は永い間搜索して、やつと其盜賊を見出した。
搜索する—to search. 盜賊—a thief.

323. 私の時計は掏摸が捕縛されてからずつと後に見附かりました。(39. 海機)

掏摸—a pickpocket.

捕縛される—arrested, to be.

X 324. 彼家へ移る間も無く火事が出ました。(43. 高)

火事が出ました—a fire broke out.

X 325. 竹村氏が當地到着前に僕は既に梅田氏乗船の報に接せり。(40. 山口高商)

當地—here. ……の報に接す—to receive an information that...

[29] 未來完了

[A] 未來完了 (The Future Perfect)

一定の將來の時限に到つて或事實が完了し居るべき場合には未來完了の形を用ふる。

【譯 例】

1. 來月博覽會がある迄には病氣を癒し度いものだ。

I hope I **shall have recovered** my health before the Exposition is held next month.

2. 貴君が歸朝なさる迄には私は學校を卒業して居ります。

I **shall have graduated** from the school by the time you return to Japan.

[B] 連續未來完了 (The Future Perfect Progressive)

一定の將來の時限に或繼續的事實が完了し居るべき場合には連續未來完了の形を用ふる。

【譯 例】

此夏で彼は五年間海運業に盡瘁した事になります。

He **will have been devoting** himself to marine transport business for five years next summer.

㊦ 現在完了の未來完了代表

when; before; after; as soon as; till 又は until 等の語に依りて率ゐらるゝ、未來完了を指示す副詞體の Clause が文章中に在る時には、該 Clause の動詞は未來完了の代りに現在完了の形を採る。

【譯 例】

1. 手紙を書き畢つたら直ぐ此仕事に掛りませう。

I will attend to this business as soon as I **have finished** my letter.

2. 松島を御覽になつた後になれば此景色なんぞは左程良いとは思召しませんでせう。

You will not think so much of this scenery after you **have seen** Matsushima.

練習題

326. 彼處へ着く迄には如何か天氣にしたいものだ。
327. 貴君がお歸り迄には私はもう横濱へ引越して居りませう。
 歸る—to come back.
 ……に引越す—to move to……。
328. もう二ヶ月居れば丁度十年居た事になります。
 (45. 海兵)
 もう二ヶ月—two more months.
 丁度—exactly.
329. 明後日で六ヶ月幾何學を學びて居た事になります。
 明後日—the day after to-morrow.
 幾何學—geometry.
330. 來年の七月に未だ此處に居りますれば、私は十年東京に住んで居る事になります。
 七月—July.
331. 算術を上げたら、直ぐ代數を始める事になりませう。
 算術—arithmetic, 代數—algebra.
332. 御空きになりましたら、一寸新聞を拜見させて下さいませんか。(大正2. 大阪高工)
 一寸—just a moment.
333. 私が未だ此仕事を畢へない内に暑い時候が参りま

せう。

暑い時候—the hot season. 参る—to set in.

334. 霜が全く降らなくなつてからでなければ、芝を植ゑたつて何にもならない。

霜—the frost. 芝—the sod.

植ゑる—to put down. 何にもならない—useless.

335. 貴君の今讀むで居られる雑誌が濟みましたら、どうぞ其處の本箱へ片付けて下さい。(40. 名古屋高工)
 雑誌—a magazine. 本箱—a bookcase.
 片付ける—to put away.

336. 私の父は私が中學の課程を畢へて後は、高等工業學校に入學する事を希望して居る。(大正2. 熊本高工)
 中學の課程—the middle-school course.
 畢へる—to complete.
 希望する—to expect a person + infinitive.

337. 神戸は氣候溫和にして、健康に適し地震洪水の災害少し。されば築港完成の曉には、東洋第一の隆盛なる貿易港となるべし。(44. 神戸高商)

溫和—mild. 健康に適す—healthy.

洪水—flood. 災害—disaster.

築港—harbour construction. 東洋—the East.

隆盛なる—prosperous. 貿易港—a trading port.

III. 時に關する接續詞, 副詞, 前置詞の用法

[30] when; while; as; now that

when; while; as; now that の用法別の大體を示せば次の如くである。

when=at the same time.

while=during the time that.

as=時の繼續を示すも、繼續其物に無頓着なる傾向ある故 when と while の中間の語と看らる。

now that=since.

【譯 例】

[A] when

- 私が彼人に手紙を書いて居た時に彼人が來た。
I was writing him a letter **when** he came.
- 喧嘩が始まつたら誰一人止めに這入る者が無かつた。
Not one of the bystanders interfered **when** the fight began.
- 私が芝居を出たら雨が降り出した。
When I had left the theatre }
On my leaving the theatre } it began raining.
- 大きくなつたら、一つ立派な家を建てるんだ。

When I am a man, I shall build a handsome house.

[B] while

- 私は臺灣に奉職中能く煩ひました。
I was often ill, **while** I was serving in Formosa.
- 一人が三味線を弾けば片方では踊を踊る。
While one plays the samisen, the other dances.

[C] as

- 昨日私が夕飯を食べて居ると雷が鳴り出した。
It began thundering **as** I was eating my dinner yesterday.
- 十時を打つと我々は散會しました。
Our meeting broke up **as** $\left. \begin{array}{l} \text{the clock} \\ \text{it} \end{array} \right\}$ struck ten.

[D] now that

- 英語を學び切つたから佛蘭西語を始めませう。
Now that we have learned English thoroughly, let us begin French.
- 電車が通じたから車夫は儲けが無い。
The rikishamen make nothing, **now that** the electric-car is running.

練 習 題

- 山に櫻が咲けば景色は善くなる。(45. 商船)
景色—the view.
- 食事が終ると一同庭で散歩しました。(43. 高)

食事—meal. 散歩する—to stroll.

340. 貴君が御話中私は外の事を考へて居ました。

外の事—something else.

341. 貴君が此處へ来たからには私も安心です。

安心する—to feel quite easy in mind.

342. もウ櫻が散つたから、向島へ行く氣は致しませぬ。

散る—to be out of blooms.

氣は致しませぬ—have no mind to.....

343. 其事を話さうとすると、最早向方の顔色が變りました。

.....しようとする—just going to, to be.

顔色—countenance.

344. 今日午後散歩に出たら、米國から歸朝した友人に出會ひました。(大正 2. 長崎高商)

散歩に出る—to go out for a walk.

出會ふ—to come across.

345. 二人が並んで立つて居るのを見たら余り背丈が違ふのに驚いた。

並んで立つて居る—standing side by side.

背丈が違ふのに—by the difference in their height.

驚く—struck, to be.

346. 私が昨年日光に逗留して居た間に大きな地震がありました。

大きな地震—a great earthquake.

347. お爺さんが山で柴を刈れば、お婆さんは川で洗濯

をする。

柴を刈る—to gather fire-wood.

洗濯する—to wash.

348. 鐵瓶は湯の沸き方が遅いが其代り一旦沸けば中々冷めない。(42. 商船)

鐵瓶—an iron pot. 沸く—to boil.

冷める—to get cold.

349. 父が東京へ移轉した當時は私は故郷の小學校に在學中でありました。(44. 小樽高商)

故郷—one's native place.

小學校—a primary school.

350. 支那人が彼れ程天に在る星の名を持つて居るのに、我國には殆一つとして特有の星の名が有りません。

支那人—the Chinese. 天—the heavens.

(我國) 特有の—of pure native origin.

351. 『雨が又降り始めましたから、傘を取りに還りました』と弟が扉を開けて云ひました。(45. 名古屋高工)

傘を取りに—(in order) to get one's umbrella.

352. 凡て何れの戦争でも一方が全然正義で、他方のみが全く不正と謂ふ場合は甚少い。

凡て何れの—any and every.

全然正義—absolutely just.

353. 『噂をすれば影がさす』とは良く言つたもので、丁

度彼の人噂をして居ると、御當人がやつて來ました。

噂をすれば影がさす—Talk of the devil, and he will appear. 噂をする—to speak about a person.

[31] since 及 after

『何々以來(以後)』又は『何々してから云々』の如き意味を表すには概して、since 又は after が用ゐられる。然乍ら此二つの語は夫々用法を異にする故、其點に注意を要する。since 及 after の用法別の概略を示せば、

[A] since

一定の過去の時限に始まりたる事が現今迄繼續した意味を表す場合に用ゐられる。故に此語を以て本文 (the principle clause) と屬文 (the dependent clause) とを接續する場合には、本文の動詞を現在完了 (時としては現在) とし、屬文の動詞を、主として、過去とする。

[B] after

此語は單に過去の事實に關してのみならず、將來を語る場合にも用ひられ得べき事は §29 [C] に示した通りである。

然乍ら若し、since と相對峙して過去の事實に關して用ゐらるゝ場合の用法を論ずれば、次の如くである。

一定の過去の時限に始まりたる事が何時迄繼續したか不確定であつて、別段現在に關係なき場合に用ゐられる。従つて since に於けるが如く本文の動詞は現在完了又は現在たるべしと謂ふ様な定則の拘束を受けぬ。

【譯 例】

- 二時からお待ち受けしました。
I have been waiting for you **since** two o'clock.
- 御維新以來日本は大に發達せり。
Since the Restoration, Japan has made great progress.
- 引越してから五年経ちます。
{Five years have already passed } **since** we removed.
{It is already five years }
- ウオタアルウの戦あつて以後數年間歐洲には平和が續いた。
After the battle of Waterloo, Europe enjoyed peace for many years.
- 昨日お別れ申してから、貴君は如何なさいましたか。
What did you do **after** {I left you } yesterday?
{we parted }
- 此本をすっかり讀むでからお貸し申ませう。
I shall lend you this book **after** I have got through it.

練習題

354. 七月になつてから急に暑くなつた。(40. 千葉醫専)
急に—suddenly. 暑くなる—to become hot.
355. 僕が此處に着いて以來雨天のみであつた。(40. 海兵)
356. 雨が上つてから未だ一度も出掛けませんでした。
(41. 二高)
(雨が)上る—to clear off.
357. 二三日前から急に暑くなりました。(44. 海兵)
- 【註】『二三日前から』と云ふが如き場合には、since は用ゐ難し。for ^{two or three} ~~some~~ days とするか又は these last few days とするを可とす。
358. 東京でお目に掛つてから、彼れ此れ二年経ちました。(41. 五高)
お目に掛る—to see (meet) a person.
359. 私は學校を卒業してから不快で居ました。(39. 海機)
不快—ill.
360. 彼人は維新以來非常に國家に功勞があつた。
(大正 3. 海機)
361. 鐵工場の不景氣状態は彼日露戦争終結の翌年頃から今日迄續いて居る。
鐵工場—iron-foundry. 不景氣状態—inactivity.
終結—conclusion.
362. 日露戦争以後我國に於ては社會の各方面に多大の變事が起りました。(大正 2. 外語)

- 社會の各方面—every sphere of activity.
多大の變事—great changes.
363. 數學は私には最困難でありましたが、此學校に入學してからは寧興味あるものとなりました。
(42. 熊本高工)
數學—mathematics. 最困難—the hardest.
364. 昨日の午後より一分間の絶間も無く降りに降り積む雪の今朝は早尺餘に及びたり。
一分間の絶間も無く—unremittingly even for a moment. 尺餘—more than a foot.
365. 宮城縣下は非常の大雪にて刈田郡の如きは積雪八尺餘に達し、去る八日より交通殆杜絶せり。(33. 専)
縣—Prefecture. 非常の大雪—a heavy snowfall.
郡—District. 交通—traffic. 杜絶す—cut off, to be.
366. 『世が澆季になつた』と言ふ語は前世紀からも、前々世紀からも多く用ゐられた嘆息である。
澆季になつた—has degenerated. 前々世紀—the century before last. 嘆息—a cry of despair.
367. 私の兄は三年間東京に遊學して丁度歸つた處です。(45. 熊本高工)
東京に遊學する—to study in Tokio.
368. 彼は卒業してから直ぐ實業界に入り今は大に成功して居ます。(44. 山口高商)
……して直ぐ—immediately after…… 實業

since, 次々 tense - 大抵 past 3rd

界に入る—to enter business. 大に成功する—to make great success.

369. 別れてから二月許りの間は、二人は便りを缺かさなかつた。

便りを缺かさなかつた—never failed to write to a person.

370. 私は十年振りで英國から歸朝しました。(45. 海兵)
十年振りで—after ten years' absence.

371. 昨日久し振りで上野の動物園へ行つて見たら種々の珍しい動物が居つた。(大正 4. 高商)

久し振りで—after a long time. 上野の動物園—the Ueno zoo. 珍しい動物—new animals.

372. 帝國鐵道院は來月二日より新橋國府津間に廻遊列車を出す由。(42. 高商)

帝國鐵道院—the Imperial Railway Board. 廻遊列車—excursion trains. 出す—to run.

【註】『來月二日より』 on and after.....と譯すべし。

373. 渡米實業團は約百日の行程を終へ、恙無く昨年十二月に歸朝しました。(43. 神戸高商)

渡米實業團—The Japanese Business Commission who had been to America. 行程—journey. 恙無く—safe. 歸朝する—to get home.

[32] before

『或事實が起る前に、又は起らぬ内に』等の意味を表す

場合に before を用ゐる。其用例を次に示す。

【譯例】

1. 泥棒は誰も氣が着かぬ内に遁げて仕舞つた。
The thief had fled away before anybody was aware of it.
2. 日の暮れない内に、も一度行つて來よう。
I will go once more before ~~dusk~~ dusk.

練習題

374. 出立前にもウ一度参りませう。(41. 海機)
375. 次の汽船の出る迄には間が有ります。(43. 海兵)
間がある—we have plenty of time before.....

[33] before; since; ago

『一定の時數又は期間前』の意味を表すに、before; since; ago 等を、時數又は期間を表す語に供して用ゐる。而して、之等の語の間には次の如き用法上の區別がある。

現在より X 時數又は X 期間前 = since 又は ago
或過去の時限より X 時數又は X 期間前 = before

【譯例】

1. 昔々大昔或處にお爺さんとお婆さんが御座いました。
A very long, long time ago, there lived an old man and an old woman.

2. 彼人は二ヶ月前に歿歿くなりました。

He died **two months** ^{since.}
_{ago.}

3. 彼は其日大層元氣が好かつたが、二ヶ月前には大病人だつた。

He was very cheerful that day, but **two months before** he was seriously ill.

4. 其お金は大分前に御拂ひしたでせうが。

I gave you this money **long ago**, didn't I?

5. 先刻雨が止んだと思つたら、復た降り出した。

The rain stopped **some time ago**, but it has come on again.

[注意] 『其時より前に』(before then) 又は『今より前に』(before now) の意味を表すのに、單に before 一語を用ひ、又『其時以來今迄』の意味を表すに、單に since 一語を用ふる場合がある。

【譯 例】

1. 之迄其う云ふ事は度々御座いました。

Such things have often happened **before** (now).

2. 彼は其事を兼ねて聞いて居る振りをした。

He pretended (that) he had heard it **before** (then).

3. 私は彼時以來彼處へ行つた事が有りません。

I have never been there **since** (then).

練 習 題

376. 有名な増上寺は今から四五年前に焼けました。

有名な—famous. 焼けた—burned down, to be.

377. 國技館は慥か五年前に建つたと思ひます。

慥か—if I remember right.

378. 私は今迄此んなに輕蔑された事は有りません。

輕蔑される—have an insult offered me.

379. 彼使は何を愚圖々々して居るのだらう。もウとウに歸つて居らなきやアならないのに。

何を愚圖々々して居るのだらう—what can a person be about.

380. 孔子は名を丘と謂ふ。孔子は其尊稱なり。今を距る二千一百餘年の昔支那の魯國に生れき。

(大正 2. 海經)

孔子—Confucius. 丘—Ch'iu. 尊稱—title of honour. 魯國—the Kingdom of Lu.

381. 貴君が東京をお立ちになる時には東京停車場は出來上つて居ましたか。はい數ヶ月前に出來て居ました。

立つ—to leave. 東京停車場—Tokio Station.

382. 東京市が市内電鐵會社を悉く買收致しましたのは餘程以前の事で御座います。

東京市—the Tokio Municipality. 買收する—to take over (the business of.....). 電鐵會社—Electric Railway Companies.

6th Feb 1917

383. 二三ヶ月以前、時事新報に東京にて天然痘患者が減じたと同時に、大阪にて数が増して來たと謂ふ記事が御座いました。(41. 商船)

天然痘患者—the small-pox sufferers. 増す—to increase. 減ずる—to decrease.

384. 本郷追分、小石川白山間の東京電車新線路は一週間前に完成し、愈々昨日より運轉を開始せり。

電車新線路—the new tram-line. 運轉を開始する—opened for traffic, to be.

[34] **till 又は until と by 又は by the time**

『或特定の時まで』(up to a certain point of time) の意味を表す場合に till 又は until を用ひ、『或特定の時までに』(not later than a certain point of time) の意味を表す場合に by 又は by the time を用ふる。

【譯 例】

1. 貴君は四月迄大阪にお居でになりますか。
Shall you remain at Osaka **till** April?
2. 私は用が済む迄滞在致すので御座いませう。
I shall stay there **until** my business is concluded.
3. お出でになるかお出でにならぬか、今晚迄に御定めになつて下さいませんか。
Will you decide, please, **by** this evening, whether

you will come or not?

4. 今度お目に掛る迄には、私よりも大きくお成りになる様に望みます。

I hope you will have grown up taller than I **by the time** we meet again.

練 習 題

385. 大變面白かつたから、夜の十二時迄^改讀んで居た。
(43. 仙臺高工)

夜の十二時頃—about midnight.

386. 此包には極く大切な物が入れてあります。明日私
が取りに來る迄預つて下さい。(45. 東北農)

包—parcel. 預る—to take charge of.

387. 次の日曜迄に間違ひなく作つて貰ひ度い。(41. 海機)

間違ひなく—without fail.

作つて貰ふ—to have it made.

(……して貰ひ)度い—I should like to have……

388. 彼は屹度七時迄に歸つて來ると申しました。

(44. 海兵)

屹度—without fail.

389. 休暇が終る迄には新校舎は落成致しませう。

休暇—holidays. 新校舎—the new school-house.

落成する—finished, to be.

390. 來週日曜日に目黒へ遠足に行き度いと思ひますが、
若し幸に天氣ならば、午前六時迄に木村君の宅へ來

て下さい。(43. 專)

遠足に—for an outing. 午前—in the morning.

木村君の宅—Mr. Kimura's (house を附するに及ばず)。

[35] for; during; in; within

for; during; in; within の用法別の大體を次に示す。

[A] 『x 期間』の意味を表す場合には……for 又は during.

(但し during は、多くの場合、x 期間中の one point of time に或事實が起る意味を表す時に用ゐられる。)

[B] 『x 時数の終には(將來)』の意味を表す場合には……

..... in.

[C] 『x 時数以内に、即ち x 時数に達せざる内に』の

意味を表す場合には……within.

【譯 例】

1. 御當地滞在中は種々御世話に相成り有難く御禮申上候。

Many thanks for all your kindnesses to me during my stay in your place.

2. お隣の山口さんに留守を頼むで行かう。

I will get Mr. Yamaguchi, my neighbour, to take charge for me during my absence.

my house

3. 今暫くの間は御全快と云ふ譯には参りません。

You will not recover completely for some time.

4. 此乗車券は三日間有効です。

This railway ticket is available for three days.

5. 三宅さんが今直ぐに此處へいらつしやいます。

Mr. Miyake will be here in a few minutes.

6. 此仕事は三年で仕上げるのです。

This work shall be completed in three years.

7. 一年の中には是非歸つて参りませう。

I shall certainly be back within (=in the course of) a year.

8. 彼は其本を一時間と経たぬ内に皆讀むで了つた。

He got through that book within an hour.

練 習 題

391. 私は一週間程前から兄上と一緒に此處に参つて居ります。(42. 七高)

兄—elder brother.

【注意】 本題に就ては、練習題(357)を参照すべし。

392. 何事も御不在中の出来事は御報知致します。

(45. 高)

報知する—to inform a person of.

393. 私は五年間郷里の中學に通つて居りました。

(大正 2. 米澤高工)

郷里—one's native province.

394. 本邦に於ける鐵道事業は過去十年間に著しき進歩を爲したり。(41. 長崎高商)

鐵道事業—railway enterprise.

著しき進歩—remarkable progress.

395. 西比利亞鐵道の完成以來歐洲迄二週間で行かれる様になつた。(43. 高工)

完成—completion.

396. 一千九百十一年中英國にて發行したる書籍の總計は一萬千十四冊なり。(大正 2. 神戸高商)

發行する—to publish. 總計—the total number.

397. 餘程回復しました。醫者は一週間内に出校されると申しました。(42. 海機)

回復する—to recover.

出校される—to be able to go to school.

[36] as soon as 其他

『何々するや否や、すると間もなく、するかしない内に、すると直に』等の意味を表す場合には、as soon as; no sooner than; scarcely when (又は before) 等の語句を用ふる事が出来る。其用例は次に示す通りである。

【譯 例】

1. 此本が空いたら、直に貸して上げませう。

I will lend you this book, **as soon as** I have done with it.

2. 花子さんがお歸りになるかならない内に、雷が鳴り出しました。

Miss Hanako had **scarcely** taken her leave, **when** (=before) it began thundering.

3. 談判破裂するや否や、兩國は互に宣戰を布告した。
No sooner had the negotiations of the two countries been broken off, **than** they declared war (on) each other.

練習題

398. 彼は東京に着くや否や、訪ねて來た。(39. 外語)
着く—to arrive at.

訪ねて來る—to come to see a person.

399. 修理が出来次第出港するそうです。(41. 海機)
修理が出来る—repaired, to be.

出港する—to weigh anchor.

……そうです—I hear that.

400. 彼人は學校を卒業すると直ぐ洋行するそうです。(41. 海兵)

洋行する—to go abroad.

……そうです—it is said that.

401. 停車場に着くか着かない内に汽車は出て仕舞つた。(44. 新潟醫專)

出て仕舞つた—had started.

402. 彼の恐ろしき災難の報を聞くや否や、私は一友人の安否を電報で問合せました。(41. 高商)

恐ろしき災難—a terrible disaster.

……の報を聞く—to hear of.

一友人—a friend of mine.

安否を問合せる—to inquire after a person.

第九講

條件法

[37] 推測的條件を表す場合

現在又は將來の事態を單に推測豫想して條件を設くる場合には、if; unless 等に依りて率ゐらるゝ相當の屬文 (Dependent Clauses) を設け、同屬文中に Indicative Present 又は Future の動詞を用ふる。而して、現在又は將來の事態を推測し、而も、其れが事實なりや否やに就て疑念を挿む場合には、前述の屬文中に、動詞の Subjective Present 又は Future を用ふるのが本來であるけれども、近來通常の會話並に散文に於ては、斯かる場合にも尙ほ、Indicative Present 又は Future を採用する様になつて來て、Subjunctive Mood としては、單に be と謂ふ形が、僅に其名残りを止める程になつて仕舞つた。

【譯 例】

1. お寒ければ、外套を御召しなさい。
If you are cold, put on your greatcoat.
2. 明日雨が降つたら、お待ち下さいますな。

If it rains to-morrow, do not expect me.

3. 値段が格好だつたら、買ひませう。

If the price be reasonable, I will buy.

4. 程良く運動なさらぬと、丈夫に成れませぬ。

You cannot be healthy, $\left\{ \begin{array}{l} \text{unless} \\ \text{if you do not} \end{array} \right\}$ take proper exercise.

5. 毎日彼植木に水をお遣りにならぬと、枯れます。

Unless you have those plants watered every day, they will die.

6. いらっしやるなら早くいらつしやる方が宜しい。

If you are coming, you had better make haste.

7. 晝迄に天氣に成りませんでしたら、行くのは止め
にませう。

If it has not cleared up by noon, I will give up the idea of going.

8. ^{アチヲ} 彼方へ二度も行らつしやつたのなら、もう行らつ
しやる思召しは御座いますまい。

If you have been there twice already, you would not care to go again.

將來の事態に就き極度の疑念を挿みて條件を設くる場合には、屬文中に Potential Past の should を用ゐる。而して此形式が通常 Subjective Future と看られて居るのである。

【譯 例】

1. 若しひよつと三宅さんにお會ひでしたら、宜しく仰有つて下さいまし。

If you **should** see Mr. Miyake, please give him my kind regards.

2. 若し誰か訪ねて來でもしたなら、横濱へ行つたと
言つてお呉れ。

If any one **should** come inquiring for me, please tell him that I have gone to Yokohama.

3. 若し貸家に相當なのが無い場合には、旅館へ止宿
致ませう。

[a] In case there **should** not be a suitable house to let, I shall stop at a hotel.

[b] In the event of there not being a suitable house to let, I shall stop at a hotel.

練 習 題

403. 降るなら今日の中に降つて仕舞ふ様に仕度い。

降つて仕舞ふ—it rains itself out.

404. 少し雨が降ると人夫は一人も出ませぬ。(39. 陸士)

人夫—a coolie.

405. 明日雨天ならば僕は出立を見合せませう。(44. 海兵)

出立—departure. 見合せる—to put off.

406. 決心は實行せざれば何の効無し。(40. 仙臺醫專)

決心—determination.

實行する—to carry.....into effect.

効無し—of no use.

407. 此分で行くともう一週間も経てば、全快するに相違ない。

此分で—at this rate.

全快する—restored to health, to be.

.....に相違ない—certainly.

408. 先達て御用立申し候書籍御用済に候は、此者に御渡し下さるべく候。(40. 專)

先達て—the other day. 用立てる—to lend.

此者—the bearer. (意譯)

409. 成る可くは、御勘定を今日済まして戴きたいもので御座います。

成る可くは—if possible. 勘定—account.

済ます—to settle.

戴き度い—I should like to have.....

410. 私は風が吹かなければ、そう寒いとも思ひません。

最寒い時は一月と二月です。(39. 商船)

寒いと思ふ—to feel cold. 一月—January.

二月—February.

411. 若し私の留守に人が来たら二時に歸ると言つてお呉れ。

留守に—while one is out.. 歸る—to be back.

412. 人は自分から學ぼうと云ふ氣が無ければ、教へて

も其甲斐の無いものです。(44. 東北農)

自分から學ぶ—to learn oneself.

氣がない—to have no spirit to.....

甲斐の無い—of no avail.

413. 汽車で行らつしやるのなら急行にお乗りになる様にお勧めします。

汽車で行く—to go by train.

急行—the express train. お勧めする—to advise.

414. 英語は五年も學べば余程本は読めますが書く事は中々六々敷いです。(42. 七高)

五年も—as long as five years.

余程—tolerably well.

415. 五年も英語を研究したのならば、請取書位は適當に書ける筈だ。(39. 高商)

五年も—for five long years.

請取書—a receipt. 適當に—properly.

416. 之迄に繪を學びだ事の無い人が描いたのなら、誠に感服なもので御座います。

繪を學びだ事の無い人—a person who never learned drawing before. 感服—admirable.

417. 君が勉強をして注意を怠らざれば極めて短期で英語を學び得る事は請合ひます。(45. 海經)

勉強をして注意を怠らず—to apply oneself to a thing very carefully. 極めて短期で—in a very short time.

學び得る—to master.

請合ふ—I assure you.

418. 明日は晴雨に係らず出發せらるゝか、又大風雨ならば見合せなさる積りか。(42. 商船)

晴雨に係らず—rain or fine.

大風雨ならば—in case of a severe storm.

419. 日曜日の午後に日比谷公園へ行けば最面白き音楽を随意に聴く事が出来る。(41. 陸士)

日曜日の午後—on Sunday afternoon.

面白き—amusing. 随意に—at pleasure.

420. 此處にてお目に懸るのは實に幸福です。若し先約が無ければ、御光來を願ふ爲め、手紙を差上げ様と思つて居た所でした。(40. 商船)

先約—previous engagement.

御光來を願ふ—to get a person call on.....

手紙を差上げる—to write to.....

.....し様と思つて居た—have been thinking that.

421. 御病氣は再發する様な事は有るまいと思ひますが、若し萬一再發致したら、私を呼びにお寄越しなさい。

再發する—to have a relapse.

萬一—by any chance.

呼びに寄越す—to send for me.

422. 一日三語宛覺ゆれば、三ヶ年にして約三千語を覚える。三千語知つて居れば、大抵の書物や雑誌は讀める。(43. 神戸高商)

覚える—to commit to one's memory.

大抵の—most. 雑誌—the magazines.

423. 支那の留學生は動亂の爲め大抵歸國したが、平和克復の曉には、之迄よりも更に多數來朝するに違ひない。(45. 高工)

支那の留學生—the Chinese students in Japan.

動亂の爲め—on account of the disturbance.

平和克復の曉には—in the event of peace.

來朝するに違ひない—sure to come.

424. 支那政府にして若し日支交渉に就き頑強ならんか、日清戦争の再び繰返さるゝに到るや必せり。

支那政府—the Chinese government.

日支交渉—the Japan-China negotiation.

頑強—obdurate. 日清戦争—the Sino-Japanese War.

必せり—assuredly.

[38] 假設又は架空的条件を表す場合

[A] 現在の事實に反する架空的条件を假設する場合には斯かる条件を表す屬文の起首に if を附し、該屬文中の動詞を Subjective Past とし、条件の結果を表す本文の動詞を Potential Past とするのが普通の形である。而して屬文の Subjective Past が were 又は had である場合には、之を屬文の起首に置き if を省く事も出来る。

【譯 例】

1. 寒かつたら外套を持つて行くのだが。
If it were cold }
Were it cold } I should take a greatcoat with me.
2. 書物が有ればお貸し申すのですが。
If I had the book }
Had I the book } I would lend it to you.
3. すつかり白状したら許して遣るのだが。
If he confessed all }
If he were to confess all } I would forgive him.
Were he to confess all }
4. 英語が喋舌れば、彼英人と話をするのだが。
If I could speak English }
Could I speak English } I should talk with that Englishman.

練 習 題

425. 僕なら其様な事をせぬと友が申しました。(40. 海機)
其様な事—such a thing.
友—one of my friends.
426. 此缺點さへ無ければ、直に彼を雇入れるのだが。
(47. 水産)
缺點—fault. 直に—at once.

雇入れる—to engage a person.

427. 丁度好い時にお出でになりました。今十分も遅くなれば私は居ないのでした。(42. 海兵)

好い時に—in good time. 居ない—to be out.

428. 私は亡父二十五歳の時に生まれまして、彼が若し生きて居れば本年六十五歳で御座います。(41. 商船)

亡父—one's deceased father.

生れる—born, to be.)

六十五歳—sixty-five (years old) 又は at sixty-five (years of age).

[B] 過去の事實に反する架空的条件を假設する場合には、斯かる条件を表す屬文の起首に if を附し、屬文中の動詞を Subjective Past Perfect とし、条件の結果を表す本文の動詞を Potential Past Perfect とするのが普通の形である。而して屬文中の助動詞 had を屬文の起首に置き if を省く事も出来る。

【譯 例】

1. お諫め申した其時に、思ひ留まつて給はらば斯うした嘆きはあるまいものを。
If you had }
Had you } given it up upon my advice at first,
how could* we be suffering this much affliction?
* could be.....と成して could have been.....と爲さる譯は、此場合の假設の結果が現在の状態に關係し居る

爲なり。

2. 彼んな不正な人間と、始めから知つて居たなら、他に取扱ひ方があつたものを。

If I **had known** from the first that he is such a dishonest person, I **would have treated** him differently.

3. 彼人が怒つたのも無理は無い。僕だつたら打ちのめしてやる所だつたに。

No wonder he was angry; **had I been** he, I **should have knocked** him down.

4. 空の皿が其處に無かつたなら、食事を爲なかつた事を盟つて斷言することが出来たものを。

But for the empty dishes

If the empty dishes **had not been** there } I **could**

have declared on oath that I had not dined at all.

練 習 題

429. 途中で B君に話をしなかつたなら間に合つたものを。(39. 海兵)

途中で—on the way. 話をする—to talk with.

間に合ふ—to be just in time.

430. 貴方の御療治を受けなかつたなら、私は死ぬのであつたが。(39. 仙臺醫専)

私は死ぬのであつたが—I **must have died**.

療治—medical treatment.

431. 醫者がもつと早く来たなら彼人は助かつたかも知れん。(40. 仙臺高工)

助かつたかも知れん—might have been saved.

432. 著者が病氣でなかつたなら、其著述は今頃は印刷に掛つて居つたでせう。(40. 高師)

著者—the author. 著述—the work.

今頃は—at this time 又は now.

印刷に掛つて居る—to be under printing.

433. 昨日雨が降らなかつたら私は飛鳥山へ花見に行つた。らう。(40. 高工)

花見に—to see the flowers 又は、意譯して, to see the cherry-blossoms.

434. 君も彼時僕が爲た通りにしたら、屹度成功したでせう。(40. 海兵)

屹度成功したでせう—must have succeeded.

435. 病氣でなかつたなら君と一緒に奈良へ行つたのに。(43. 仙臺高工)

君と一緒に—with you.

436. 天氣が彼んなに悪くなかつたら、出發する筈でした。(43. 海機)

437. 昨日好天氣でしたなら、徒歩で行つたのでしたけれど、生憎雨天でしたから電車にしました。

(42. 大阪高工)

好天氣—fine weather.

徒歩で行つた—went on foot.

生憎—unfortunate. 雨天—wet weather.

電車にしました—took an electric-car.

438. 若し辨當を持つて行つたら、あんなに空腹になつて歸る様な事は無かつたらうに。(42. 商船)

辨當—luncheon.

持つて行く—to take.....with one.

空腹になる—to get hungry.

439. 昨年失敗せざりしならんには、今年再入學試験を受くるの要無きに。(42. 水産)

失敗する—to fail. 再—again.

入學試験を受ける—to take the entrance examination.の要無し—have not to.....

440. 注意してやつたらもう少し良く出来たらうに。

(43. 海兵)

注意してやる—to do carefully. /

もう少し良く—a little better.

441. 洋傘を持つて行つたら、あんなにズブ濡れにならなかつたらうに。(44. 海機)

洋傘—an umbrella. あんなに—like that.

ズブ濡れ—wet through.

442. 君は彼時笑つたが、僕なら屹度泣いたのだつた。

(45. 水産)

彼時—at that time. 屹度—certainly.

443. 彼男の兒はもつと體を大切にしたら、病氣にならなかつたらうに。(大正 2. 熊本高工)

體を大切に—to take good care of oneself.

病氣になる—to fall ill.

444. 昨夜の火事で何軒位焼けましたか。御宅は無事でしたか。風が強かつたならば私の家も危かつたでせう。(大正 4. 専)

何軒位—how many houses.

無事—safe.

風が強い—it blows hard.

10th July 21th

第十講

接 續 法

本講に於ては主として、文章と文章、文章と語句、語句と語句等各相互間の接續法に就て述べようと思ふ。

[39] 等級文の接續

等級文又は同品文 (Coordinate Sentences) とは、例へば『月明なり』『星稀れなり』と謂ふ二つの格式同等なる文章を接續して『月明に星稀れなり』なる一つの文章を作る場合に、其格式同等なる文章を指して、等級文又は同品文と稱するのである。

此の如き等級文又は同品文の接續に用ゐらるゝ、諸種の接續詞の用法を、之より順次に摘示する。

[A] and の用法。

『何々を爲して(それから)何々を爲す』と謂ふ文章に於けるが如く、連続的の等級文を接續する場合、及び『何々は斯々で(又)何々は然々だ』と謂ふ文章に於けるが如く、併立的の等級文は接續する場合には、接續詞として and を用ゐるのが普通である。然乍ら、斯かる場合に、

and を用ひず、其代に分詞 (Participle) を利用する事も出来る。

and の用法及之に代へて分詞を用ゐる形式を、公式に依つて表せば、次の如くである。

イ 主格が前文後文に共通なる場合

- { (A) 主格, + (a) 説明語, + and + (A) 主格 + (β) 説明語.
- { (a) 分詞句, + (A) 主格 + (β) 説明語.
- { (A) 主格, + (a) 分詞句, + (β) 説明語.

ロ 主格が前文後文に共通ならざる場合

- { (A) 主格 + (a) 説明語, + and + (B) 主格 + (b) 説明語.
- { (A) 主格 + (a) 分詞句, + (B) 主格 + (b) 説明語.
- { (A) 主格 + (a) 説明語, + (B) 主格 + (b) 分詞句.

【譯 例】

1. 彼は石を拾つて犬に投げ付けました。
 - [a] He took a stone **and** (he) threw it at the dog.
 - [b] **Taking** a stone, he threw it at the dog.
 - [c] He, **taking** a stone, threw it at the dog.
2. 月明に星稀れなり。
 - [a] The moon shines bright, **and** the stars are rarely seen.
 - [b] The moon **shining** bright, the stars are rarely seen.
 - [c] The moon shines bright, the stars **being** rarely seen.

3. 観音堂を拜し畢つて、活動寫眞を見に参りました。

[a] We had visited the Kannon Temple, and then went to a moving-picture show.

[b] After we had visited the Kannon Temple, we went to a moving-picture show.

[c] **Having** visited the Kannon Temple, we went to a moving-picture show.

[d] We, **having** visited the Kannon Temple, went to a moving-picture show.

4. 母親は家出をして仕舞つて、子供は餓に泣いて居る。

[a] The mother has run away from home, and the child is crying with hunger.

[b] The mother **having** run away from home, the child is crying with hunger.

[c] The child is crying with hunger, the mother **having** run away from home.

茲に注意すべき事は、上に公式及譯例を以て示したるが如き、分詞を用いた形を英文法上絶対分詞句 (Absolute Participial Phrase or the Nominative Absolute) と呼びで居る。而して此絶対分詞句なるものは甚融通が利いて、便利であるにも係らず、學者は往々之を以て不正確の英語となし排斥するの傾向がある。然しながら余は、此構造の適不適に關する論議は文章論に屬する事であつて、和文英譯の本義は、之を度外視して談ずべからざるものゝ

りと思ふ。

練 習 題

445. 地味悪くして、人口稀れなり。(大正 2. 商船)

地味悪し—the soil is barren.

人口稀なり—thinly populated.

446. 君は民を恵み、民は君を敬ふ。(大正 2. 商船)

君—the lord. 恵む—to favour.

民—the subject. 敬ふ—to rever 又は respect.

447. 絶えず流れて水勢頗盛なり。(42. 商船)

絶えず—constantly. 流れる—to flow.

頗盛—very strong.

448. 彼は此手紙を残して置いて出て行きました。

(大正 2. 山口高商)

残して置く—to leave. 出て行く—to go away.

449. 蠣と云ふと廣島を聯想し、廣島と云ふと必ず名物の蠣を懐ひ出す。

蠣—the oyster. 必ず—sure to.....

450. 巡査が各所に非常線を張つて、到頭犯人を捕へた。

巡査—a policeman.

非常線を張る—to post cordons.

到頭—finally. 犯人—the culprit.

捕へる—to arrest.

451. 平生疎遠にして居て、用事の時のみ音信れるのは、誠に不深切である。(42. 山口高商)

疎遠にする—to remain silent.

音信れる—to write.

452. 青年時代には藤田東湖の門に學び、勤王主義を奉じて盛に活動した。

青年時代には—in one's youth.

……の門に學ぶ—to study under……。

勤王主義を奉じて(=勤王の士として)—as a loyalist. 盛に活動する—to take an active part.

453. 彼は資本金百圓を以て商賣を始めましたが今日は大銀行の頭取に成つて居ます。(大正 2. 外語)

資本金百圓—a capital of 100 yen.

商賣を始める—to start business.

大銀行—a leading bank. 頭取—the president.

454. 日本は東洋の一等國にして歐米列國との交際上大使の交換をして居る。

東洋の一等國—the leading power of the East.

歐米列國—the Western powers.

交際上—in maintaining mutual friendship.

大使—ambassadors.

455. 會堂を見て、濫茶の御馳走になつて家の息子に道を教はつて、甲州街道の方へ行つた。(大正 2. 高工)

會堂—church. 御馳走になる—entertained, to be.

家の息子—a son of the host.

甲州街道—the Kōshū highway.

456. 彼は帝國大學を優等で卒業して、恩賜の銀時計を

頂戴した。

帝國大學—the Imperial University.

優等で—with honour.

恩賜の銀時計を頂戴する—graciously awarded the prize of silver watch by the Emperor.

457. 巴奈馬運河は太平洋西兩洋を連絡し、世界の通商航海に大革命を興へたり。(大正 4. 明專)

巴奈馬運河—the Panama Canal.

太平洋西兩洋—the Pacific and Atlantic Oceans.

通商航海—commerce and navigation.

大革命—a remarkable reform.

458. 明治も大正に變り、大正も四年を迎へむとしつゝあれど、相變らぬは生活難の叫びなりけり。

大正に變る—to pass to Taisho. 生活難の叫び—the groaning in the struggles for bread.

459. 人の一生、病になる程不幸なるは無し。一度病に罹りては爲さむと思ふ事も爲す事能はず、終日家のみ閉ぢ籠りて、面白からぬ日を送らざるべからず。

(大正 2. 陸士)

病になる—to become ill. 不幸—unfortunate.

爲さむと思ふ事—what one wishes to do.

閉ぢ籠る—confined to, to be.

面白からぬ—unhappy.

460. 本月二十四日静岡市に大火あり。全焼八十九戸半

焼七戸を出せり。損害高は約五萬圓なりと謂ふ。

(大正 4. 外語)

本月二十四日—On the 24th inst. (instant).

大火—a big fire. 損害高—damages.

461. 私は目下五年生で國語、漢文、地理、歴史、用器畫、英語、幾何、代數、三角術、物理、動物、植物等を稽古して居ります。先生は何れも深切です。校庭は廣く寄宿舎の設備も略完全です。(42. 海機)

五年生—a fifth year student.

國語—Japanese classics. 漢文—Chinese classics.

地理—geography. 用器畫—instrumental drawing.

幾何—geometry. 代數—algebra.

三角術—trigonometry. 物理—physics.

動物學—zoology. 植物學—botany.

校庭—the school-ground. 寄宿舎—the dormitory.

略完全—nearly perfect. 設備—accommodations.

[B] not only but (also); as well as; both.....and の用法

『.....なるのみならず又』『.....である許りでなく又』『.....であると共に又』『.....であり又.....でもある』等の意味を表す場合に、not only but (also 又は likewise); as well as; both..... and 等を用ふる。

之等の語の用例を次に示す。

【譯 例】

1. 彼は政治家である許りでなく、又文人である。

[a] He is **not only** a statesman **but** $\left. \begin{array}{l} \text{(also)} \\ \text{(likewise)} \end{array} \right\}$

a man of letters.

[b] He is **both** a politician **and** a man of letters.

[c] He is a man of letters **as well as** a politician.

2. 東照宮は日本に於ける最不可思議な又最華麗な見物の一である。

The Tōshōgu Shrine at Nikko is one of the most beautiful **as well as** most wonderful sights in Japan.

3. 私の前齒も奥齒も皆腐り掛けて居ます。

Both my front **and** molar teeth are all beginning to decay.

練 習 題

462. 彼は詩人たるのみでは無く、又畫家でもある。
(40. 海兵)

詩人—a poet. 畫家—a painter.

463. 東郷大將は日本否世界の偉人である。(39. 高師)

東郷大將—Admiral Togo. 偉人—a great man.

464. 海上生活は勇ましくして爽快である。(44. 商船)

海上生活—seafaring life. 勇ましく—manly.

爽快—delightful.

465. 今日では軍艦も大砲も總て日本で造ります。
(41. 海機)

今日では—now-a-days. 大砲—cannon.

造る—to manufacture.

466. 動物に依りては陸にも水にも棲む事が出来る。
(42. 海兵)

動物に依りては—some animals. 陸—land.

467. 梅は花の綺麗なる許りではなく、其實は食用に適する。(43. 商船)

梅—the plum. 綺麗—pretty. 實—fruit.

食用に適する—good to eat.

468. 乃木大將の死は單に日本のみならず世界全體の損失なりと一般に認めらる。

乃木大將—General Nogi. 損失—loss.

一般に—generally. 認めらる—regarded, to be.

469. 彼は高尚なる品性と、非凡なる實業上の伎倆とを具へて居る。(44. 山口高商)

高尚なる品性—a noble character.

非凡なる—uncommon. 伎倆—talent.

具へて居る—gifted with, to be.

470. 酒色に豪の者たる彼は、又金錢に吝なるを以て有名なり。

酒色に豪の者—a hard drinker and a notorious libertine. を以て有名なり—remarkable for....

471. 彼が戰場馳驅の猛將軍として好適の資材たるは、彼が日清日露の兩戰役に於て表せる武勳既に之を證して餘りあるなり。

戰場—battle-field. 武勳—military service.

證する—to indicate.

472. 常識は何人にも必要なるものにして、又何人にも得らるべきものなり。然れども其修得は必ずしも容易ならず。(大正 4. 專)

常識—common sense.

何人にも得らるべき—open to every person.

修得—acquisition.

必ずしも.....ならず—not always.

473. 加州に於ける排日運動は正義人道に反するのみならず、日米間の交誼を阻碍するの虞れあり。

加州—California.

排日運動—the anti-Japanese movement.

正義—justice. 人道—humanity.

交誼—the feelings of friendship.

阻碍する—to impair.

474. 須磨は風景の佳なるのみならず、空氣清潔にして、人の健康に宜しきこと亦天下第一なり。(大正 4. 外語)

風景—views. 空氣—air. 清潔—pure.

健康—health. 天下—the world.

475. 私は唯英語の勉強が大に面白いと思ふ許りで無く、英語に精通するは航海業に従事する者には必要と存じます。私は外國航路の船に乗込み度いと思つて、其時の到るのを待つて居ます。(40. 商船)

大に面白いと思ふ—much interested in.....

英語に精通する—to be quite at home in English.

航海業に従事する者—navigators.

外國航路—a foreign line.

船に乗込む—to go on board the ship.

[C] or の用法

or の特別の用法として、『さも無ければ』の意味を表す場合を、次に譯例を以て示す。

【譯 例】

すつかり白状し無くては許されないだらう。

You must confess all, or they will not pardon you.

練 習 題

476. もつと勉強した方が良からう。さも無ければ試験に落第するかも知れぬ。(44. 熊本高工)

もつと—still harder. ……方が良からう—had better + Root. 試験に落第する—to fail in the examination.

477. 遅くなりますから行かなければなりません。此んなに長く立つて居ようとは思ひませんでした。

(40. 商船)

遅くなる—to be late. 此んなに長く—for such a long time. ……とは思ひませんでした—did not expect to……

[D] Either or ; neither nor ; whether or の用法

Either or ; neither nor ; whether or の用法は夫々異なる故、例に依つて、其差別を次の譯例を以て示す。

【譯 例】

1. 君か僕か何方か^{ドツテ}謝まりに行かねばならぬ。

Either you or I should go and apologize to him.

2. 僕は何も言ひもしなけりや、爲もしないのに、如何してああ腹を立て居るのか知らん。

I neither said nor did anything, and I wonder why he got so angry.

3. 太刀山が此場所に全勝を得るか如何か分らない。

I can't tell whether (or not) Tachiyama could win the ever-victorious laurel crown for the present season.

4. 君の物であるにしる無いにしる、粗末に取扱つちやアいけない。

Whether it be yours or not, you must not handle it so roughly.

練 習 題

478. 大風か大雨か何つちか^イやつて來そうだ。

大風—a heavy gale.

大雨—a heavy fall of rain.

479. 佐藤君が着いたか如何か御存じですか。

(42. 仙臺高工)

御存じですか—do you know?

480. 僕は船に酔ふか酔は無いかわからない。(45. 商船)
 船に酔ふ—to get seasick.
 分からない—I can't tell.
481. 彼は其んな事は見た事も聞いた事も無いと曰つた。(39. 海兵)
482. 試験に合格するとしなひとは全く貴君の準備次第です。(45. 熊本高工)
 試験に合格する—to pass the examination.
 準備—preparation.
483. 汽船は明日入港するか、それとも明後日になるか確と分かりません。(39. 山口高商)
 汽船—the steamer. 入港する—to enter port.
 明後日—the day after to-morrow. 確と分かりません—I cannot tell positively.
484. 洋服が和服に勝れて居るか如何かは時々問題にもなるが、まだ真面目に研究された事は無いらしい。(大正 3. 高商)
 洋服—European clothes. 和服—Japanese costume.
 ...に勝れる—better than. 時々—now and again.
 真面目に—with all seriousness.
 研究される—studied, to be.
485. 面白い面白く無いはさて置いて、兎も角東京の名物ですから、一度は御覧になるべきものです。
 面白い—amusing. 名物—celebrities.

486. 本當に人に好かれるには、男でも女でも、唯人の御機嫌を取り、お世辭を振蒔くのみではいけない。
 本當に—truly. 人の御機嫌を取る—to flatter.
 お世辭を振蒔く—to humour. (意譯)。

[40] 名詞體の接續

本節に於ては主として、主格、目的格又は補足語としての Noun Clause の接續法を説く。

[A] 接續詞を用ふる場合

接續詞を用ゐて、Noun Clause を文章に接續する形式を次の文例に示す。

【譯 例】

- 彼人が来て呉れば良いが怪しいな。
 I hope **that** he will come, but it is doubtful.
 - 僕に及第が出来るか知ら。
 I wonder $\left\{ \begin{array}{l} \text{if} \\ \text{whether} \end{array} \right\}$ I can pass.
 - 金が黄色い事は云ふ迄も無い事だ。
 [a] **That** gold is yellow needs no mention.
 [b] The yellowness of gold needs no mention.
 - 結局誰も参りませんでした。
 The result was **that** nobody came.
- [B] 疑問詞を用ふる場合

疑問詞を用ゐて、Noun Clause を文章に接続する場合を次の文例に示す。

【譯 例】

1. 此箱に何が這入つて居るか當てゝ見やう。
Let us guess **what** is in this box.
2. 傘は何處で買ふのですか教へて下さいませんか。
Will you, please, tell me **where** I can buy an umbrella?
3. 彼家の子供は如何して、あゝ聞分けが無いのか分らぬ。
I do not understand **why** the children in that family are so disobedient.
4. 天気工合を見る積りで窓を開けた。
I opened the window to see **how** the weather was.
5. 何の子供が彼んな悪戯をしたか能く分らぬ。
Which boy did such mischief is uncertain.

練 習 題

487. 御主人は何時頃お歸りか御存じですか。(40. 海機)
御主人—your master.
御存じですか—can you tell me...?
488. 私の申したのは左様では御座いません。(42. 高師)
私の申したのは—what I have said is....

489. 何時出發するのかはつきりした事を彼は云はなかつた。(43. 海機)
はつきりした事を彼は云はなかつた—I have not been told yet for certain....
490. 彼が話し始めた時彼の胸中が能く分らなかつた。(45. 山口高商)
彼が話し始めた時—at the outset of his speech.
胸中—what one means.
491. 禽獸でさへも夫婦の情、子の愛を知つて居る。況んや人に於ておや。
禽獸—animals. 夫婦—man and wife. 子の愛—the love of children. 況んや人に於ておや—much more is the case with men!
492. 審判官は誰に賞を與ふべきかを決定するに頗困難を感じた。(45. 陸士)
審判官—umpire. 賞—prize. 決定する—to decide. 頗困難を感ずる—to experience much difficulty.
493. 昨夜一夜を、何處を如何歩き廻つたものやら、氣が着いて見れば一つも記憶が無い。
昨夜一夜を—through last night. 歩き廻る—to roam about. 氣が着く—to come to oneself. 一つも記憶が無い—nothing to remember.
494. 青年子女の見物、讀物、聞物の良否は其思想感情に影響する所大なるものがある。

青年子女—young men and women. 思想—conception. 感情—feeling. 影響する所大なるものがある—to have great influence upon....

[41] 直接法及間接法

自他の説話を敘述するに方つて、直接に其の説話の儘を引用する場合と、間接に其説話の趣旨を述ぶる場合との兩様の語法がある。前者を直接法、後者を間接法と謂ふ。

直接法、間接法相互の差違及び關係に就て、其原則及例外の大體を次に摘示する。

[A] 原則

(甲) 説話を申告する動詞が現在、現在完了若しくは未來なる時には、説話中の動詞は直接法、間接法共に同じ Tense を採る。

但し間接法に在りては、説話中の未來動詞は常に直接法に於ける形式を殘留する。即ち直接法に於て shall を用ふべき時には、人稱の如何を問はず間接法に於ても shall, 又直接法に於て will を用ふべき時は、人稱の如何を問はず、間接法に於ても will を採用するのである。

【譯 例】

1. 彼は其れで金を儲けると云つて居ます。

He says { "I shall make money by it." [直接法]
that he shall make money by it. [間接法]

2. 君は成効すると云ふが僕は難かしいと思ふ。

You say { "I shall succeed" } but I doubt it.
that you shall succeed

3. 馬術を稽古して居ると、近頃彼は云つて居ました。

He has told me of late, "I am practising horsemanship."
He has told me of late (that) he is practising horsemanship.

4. 彼は一向聞きませんでしたと云ふに極つて居る。

He will certainly say, "I have not heard of it at all."
He will certainly say (that) he has not heard of it at all.

『...だそうだ』『...と聞いた』『...と云ふ話だ』又は『何々新聞の報導に依れば』『何處其處よりの電報又は通信に曰く』と謂ふが如く、他よりの傳聞又は報告、通知を敘するに方つて、現在若しくは現在完了動詞に依りて申告せらるゝ間接法の説話體を用ふる。

然乍ら此場合に種々異なりたる語法を用ふることもある故其等を一括して次の譯例に示す。

【譯 例】

1. 日本は露西亞と攻守同盟を結ぶ考へがあるそうで御座いますが、本當でせうか。

It is said } that Japan has }
They say } an idea of concluding
 Japan is said to have }
 an offensive and defensive treaty with Russia; is it true?

2. 数名の東京力士が此夏渡米すると謂ふ事です。

A number of wrestlers from Tokio will pay a visit to America this summer, **I am told.**
I understand.

【註】 結尾の I am told 又は I understand は、本來は之を冒頭に置いて I am told }
 I understand } that a number of
 ... とすべきであるが、便宜に従つて斯くの如く結尾に附しても差支ないのである。

3. 此間の日曜の午後、前橋に大雷雨があつたとの事です。

Report has it } that a severe thunder-storm was
It is reported }
 experienced at Mayebashi on last Sunday afternoon.

4. 彼男は永い間賄賂を取つて居たとの評判です。

He is reported to have }
It is reported that he has } been receiving bribe
 for a long time.

5. 昨夜千駄ヶ谷の近邊に火事があつたと聞きました。

I hear (that) there was a fire in the neighbourhood of Sendagaya last night.

6. 有名なる印度詩人タゴール氏今秋日本へ來遊すべしとの報あり。

Tagore, the well-known Indian poet, will, **it is reported**, visit Japan this fall on a pleasure tour.

【註】 斯の如く冒頭に置くべき It is reported を便宜に従つて文章の中間に挿入するも差支ないのである。

7. 紐育よりの電報に依れば二三日前有名なる銀行家モルガン氏の暗殺を企てたる者ありたりと。

According to a telegram from New York, }
 A telegram from New York **says** that } an attempt was made on the life of Mr. Morgan, the well-known banker, a few days ago.

8. 朝日新聞に據れば今年十月未曾有の大規模を以て琉球近海に海軍大演習を行はせらるべしと。

According to the *Asahi* }
 The *Asahi* **says** that } the naval manoeuvres on an unprecedentedly large scale will be held in the seas off the Loochoo Islands in October next.

9. 日々新聞神戸特派員の報に據れば、昨朝六時四分

同地に激震ありたる由。

A Kobe despatch to the *Nichinichi* { **reports** } that
 { **states** } that
 a sharp earthquake was experienced there on yesterday morning at 6.04.

10. 官報に依れば、今年の文部省展覧會は來る十五日より上野公園にて開催せらるべし。

It is announced in the Official Gazette } that this
 The Official Gazette **announces** }
 year's Fine Arts Exhibition of the Mombushō will be opened at Uyeno Park on the 15th inst.

(乙) 説話を申告する動詞が過去なる時は、説話中の動詞は、直接法と間接法とに於て次の如き差違を生ずる。

此差違を敘事體、疑問體、命令體の三様の場合に分つて摘示すれば、

(イ) 敘事體の場合。

直接法の現在及未來 = 間接法の過去

直接法の現在完了及過去 = 間接法の過去完了

【譯 例】

1. 何れ二三日の中に返事をすると、彼に申しました。

I said { "I **will** give you an answer in a few days."
 (that) I **would** give him an answer in a few days.

2. 其んな事は譯は無いと彼が申しました。

He said { "I **can** do it without any effort."
 he **could** do it without any effort.

3. お母さんは芝居を見に行つたと彼が云ひました。

He told me { "My mother **has** gone to the theatre."
 his mother **had** gone to the theatre.

4. 昨日學校を休むだと彼が云ひました。

He said { "I **stayed** away from school **yesterday**."
 he **had stayed** away from school **the day before**.

(ロ) 疑問體の場合。

直接法に於ては、疑問體の説話を其儘引用する故別に説明を要しないが、間接法に於ては、疑問體の説話を、\$40 [A] 及 [B] 中に示したるが如き、if, whether 等の接續詞又は where, what, how 等の疑問詞に依つて率ゐらるゝ Noun Clause に轉化して、之を申告する。

而して此場合に於ける直接間接兩法間に於ける説話中の動詞の Tense の差違は、前述敘事體の場合の規則を踏襲する。

【譯 例】

1. 彼は私に、君は決闘をした事があるかと尋ねました。

He asked me { "Have you ever fought a duel?"
if (= **whether**) I had fought a duel.

2. 私は彼に、之は如何いふ文法書かと尋ねました。

I asked him { "What sort of grammar is this?"
what sort of grammar that was.

(ハ) 命令體の場合。

直接法に在りては、命令體の説話を其儘引用する故別に説明を要しないが、間接法に於ては、命令體の説話を不定法句其他の語法に轉化して、之を申告する。而して此場合に於ける、説話を申告する動詞は説話の性質に従つて、適當なる語を撰ぶ。

【譯 例】

1. 私は彼に二度と再び其んな事をするなど申しました。

{ I said to him, "Never do such a thing again."
I warned him **not to do** such a thing again.

2. 彼が私に本當の事を知らして呉れと云ひました。

{ He said to me, "Let me know the truth."
He asked me **to let** him **know** the truth.

3. 酔漢に構ふなど彼が私に申しました。

{ He said to me, "Do let alone a drunkard."
He advised me **that** I **should** let alone a drunkard.

[B] 例 外

(甲) 宇宙の眞理、常慣、又は或過去の行爲に就ての歴史的事實を述ぶる場合には、直接法間接法共に、説話中の動詞の Tense は相同じ。

【譯 例】

1. 正直は最良の政策であると彼が曰ひました。

He said { "Honesty is the best policy."
(that) honesty is the best policy.

2. ベル氏が電話機を發明したのだと先生が云はれました。

The teacher said { "Mr. Bell invented the tele-
phone."
(that) Mr. Bell invented the tele-
phone.

3. 地球は靜止して居るものではないと彼が曰つた。

He told me { "the earth does not stand still."
(that) the earth does not stand still.

(乙) 説話中の動詞が可成法又は條件法の過去 (Potential Past or Subjunctive Past) である場合には、其點に於て、直接法間接法共に相同じ。

【譯 例】

命あればこそ、斯うして會へるのだと彼が云ひました。

He said { "Had we ceased to exist, we should not
have been able to meet like this."
(that) we should not have been able to meet
like this, if we had ceased to exist.

練 習 題

495. 父が二年前に死むだと彼は言ふた。(41. 仙臺高工)
496. 稻は百穀の長にして、人間生命の係る所なりと古人は言へり。(大正 2. 海經)
- 稻—rice. 百穀の長—the chief of all the cereals.
古人—the ancients.
497. 『電車に乗るよりも、一緒に歩いて宅迄帰りませう』と友人が曰ひました。(40. 名古屋高工)
- よりも—rather than. 一緒に—together. 宅迄
……歸る—to go home.
498. 何日程不在になるかと問はれたから、少くとも一ヶ月は彼地に滞在すると答へた。(大正 2. 海兵)
- 何日程—how long. 不在になる—absent from
home. 滞在する—to stay. 少くとも—at least.
499. 甲が乙に命じて汝若し今日序あらば、勸工場に寄り、西洋紙一帖を買つて来て呉れ給へと曰ひたり。(41. 商船)
- 序あらば—if you have an opportunity. 勸工場
—a bazaar. 寄る—to call at. 西洋紙—foreign

paper. 帖—quire.

500. 彼が途中で友人に出會つた時、『彼處に在るのは私の小さい時に通つた學校ですから、私と一緒に来て下さい』と申しました。(42. 名古屋高工)
- 途中で—on the way. 出會ふ—to meet. 小さい時に—in one's childhood. 通ふ—to attend.
501. 日曜でも外に用事が無ければ、外出致しませんですし、又今日は少しく氣分が悪いから、何處にも行かぬと申して居りました。(40. 商船)
- 用事が無ければ—except on business. 氣分が悪い—indisposed 又は out of sorts. 申して居りました—he says.
502. 此少年は全く伯母の手で育て上げられたとサ。(39. 外語)
- 伯母—aunt. …の手で育て上げられる—brought up in the hands of.
503. 彼方は日本へ来てもう二十年以上になるそうです。(44. 海兵)
- 二十年以上—more than twenty years.
504. 我艦隊の死傷は極めて少數で、千人に達せぬ様に聞きました。(39. 海機)
- 少數—few. 千人に達せぬ—less than 1,000.
505. 臺灣では其蠻民の隠れて居る處を探り出すのが余程難かしいものだそうさ。(41. 山口高商)

臺灣—Formosa. 蠻民—the aborigines. 隠れて居る處—the hiding places. 探り出す—to find out.

506. 今度愈々名古屋附近に第八高等學校が新設される事に定まつたそうです。(39. 名古屋高工)

附近に—in the neighbourhood of. 第八高等學校—the Eighth Higher School. 新設される—newly established, to be. 定まる—settled, to be.

507. 彼人は佛語を話すさうだが、僕は未だ彼人の話すのを聞いた事が有りません。(43. 海兵)
彼人の話すのを聞く—to hear him speak.

508. 大坂に火事があつて約一萬軒全焼したと謂ふ事です。(45. 長崎高商)
約—about. 全焼する—burned to the ground, to be 又は destroyed, to be 或は又 reduced to ashes, to be (灰燼に歸す)。

509. 幽霊が毎晩彼家へ出ると云ふ評判だ。
幽霊—a ghost. 出る—to appear.

510. 彼の死因は心臓麻痺だそうです。
心臓麻痺—ruptures of the aorta of the heart.

511. 明日支那に向け御出發の由、彼地御到着の節は早速御一報下され度候。(44. 高)
支那に向け—for China.
御一報下され度候—please let me know.....

512. 絹絲紡績會社は今般京都にて株主臨時總會を開きたる由。

絹絲紡績會社—the Silk Spinning Company.
臨時總會—an extraordinary general meeting.
株主—the shareholders.

513. 日本の北部及樺太は十一月の初から四月の末迄引續き雪が降つて、雪が屋根の高さより余程高く積るそうです。(39. 商船)

北部—the northern parts. 樺太—Saghalien. 十一月—November. 四月—April. 積る—to pile up.

514. 同會合に於て議論百出し、夜中迄決議に到らざりし由。

會合—meeting. 議論—arguments. 夜中迄—until midnight. 決議—decision.

515. 尾崎東京市長は四月十九日米國カリフォルニア洲知事及桑港市長に宛て震災見舞電報を發せし由。

(39. 高工)
東京市長—Mayor of Tokio. 知事—Governor.
桑港—San Francisco. 震災—earthquake disaster.
見舞の電報を發する—to send a telegram of sympathy.

516. 獨逸の石油産額は、ハノウブルとホルスタインとアルサスとに油坑が有つて、一日一千石と云はれて居る。

石油—petroleum. 産額—yield. ハノウブル—
Hanover. ホルスタイン—Holstein. アルサス—
Alsace. 油坑—petroleum well. 一日一千石—
1,000 *koku* a day.

517. 東京が江戸と申しました頃一千八百六十五年上野
は徳川將軍の徒黨と官軍との戦場であつたさうで
す。(40. 商船)

徳川將軍の徒黨—the Shogunate party.

官軍—the Imperial Army.

518. 東京の或新聞の特派員は白耳義國王に日本刀を捧
呈した。陛下は喜んで受納せられたさうです。

(大正 4. 專)

或新聞—a certain paper. 特派員—a delegate.

白耳義國王—the King of Belgium. 日本刀—a
Japanese sword. 捧呈する—to present. 陛下—

His Majesty. 喜んで—with pleasure. 受納する
—to accept.

519. 我等が聞きたる處に據れば、此風説は全く無根の
由なり。(41. 專)

我等が聞きたる所に依れば—so far as we have
heard. 風説—rumour. 無根—groundless.

520. 統計表の示す所に依れば、大正元年末に於ける日
本の免許醫師の總數は三萬九千六百五拾七名なり
と。

統計表の示す所に依れば—statistics show that...

免許醫師—licenced doctors. 總數—the total
number.

521. 萬朝報の調査報告に依れば日本中にて最高齡なり
と知られ居る人々は百十一歳にして而も女の方が男
よりも多數である。(41. 商船)

調査—investigations. 百十一歳—one hundred
and eleven years of age. 多數—numerous.

522. 在米の友人よりの來信に依れば、近來日本人の渡
米する者が著しく減じたさうです。(41. 神戸高商)

近來—of late. 著しく減じた—have remarkably
decreased.

523. 在米一友人の手紙に依れば、帝劇座附の原信子嬢
は目下彼地にて盛なる歓迎を受けつゝありと。

帝劇—the Imperial Theatre. 目下—now. 彼地
にて—in the land. 盛なる歓迎を受く—to re-
ceive a warm welcome.

524. 韓國漫遊を終り、一昨夜歸京せる一友人の談に依
れば、同國沿岸到る處魚類は豊富なれ共、漁業は極
めて幼稚なりと謂ふ。(42. 水産)

韓國漫遊—a tour through Korea. 一昨夜—the
night before last. 沿岸—the coasts. 魚類—fish.

豊富—abundant. 漁業—fishery. 幼稚—in its
infancy.

525. ^{ニュージーランド}新西蘭ウエリントン發電に曰く、白瀬中尉を乗せ
たる開南丸は南極に向ひ出發せりと。(44. 神戸高商)

新西蘭—New Zealand. ウェリントン—Wellington. 中尉—lieutenant. ...を乗せたる—with... on board. 南極—the South Pole.

526. 毎日新聞の報導に依れば、天鹽の國にては五月七日夜より翌朝に掛けて降雪あり。札幌にても同朝四圍の諸山雪を被りたりと。(大正 2. 東北農)

天鹽の國—the province of Teshio. 翌朝—the next morning. 四圍の諸山—the mountains surrounding (the city). 雪を被る—covered with snow.

527. 長野よりの報告に依れば、焼ヶ嶽の頂上に舊噴火口の東南に方り新噴火口を生じたりと。

噴火口—crater. 東南に方り—to the south-east of.... 生ずる—made, to be.

528. 電報に依れば御地大地震の由、御家内御一統御無事に候哉。右お見舞まで、以上。

大正三年一月十日 正岡

森田様 (大正 3. 高工)

大地震—severe earthquakes. 御家内御一統—all of your people.

529. 最確なる筋よりの報導に依れば、御即位式の紀念として畏き邊より市内の高齡者に特別の御沙汰之有るべしと。

最確なる筋—a most reliable source. 御即位式—Coronation. 紀念として—in commemoration of...

.... 市内の—in the capital. 特別の御沙汰—a special treatment.

[42] 形容詞體の接續

[A] 同格名詞 (a Noun in Apposition) の接續

名詞は時として他の名詞を説明する役目を勤める。斯の如き場合に、其名詞を、之に依りて説明せられる名詞に對して同格名詞 (an appositive noun or a noun in apposition) と稱する。

同格名詞接續の形式を次の文例に示す。

【譯 例】

1. 石井駐佛大使が今度外務大臣に成るそうで御座います。

I hear that Ishii, **Ambassador at Paris**, is to be the new Minister of Foreign Affairs.

2. 僕の従兄の吉野の妻君が昨夜男の兒を産むだそらだ。

My cousin, Mr. Yoshino's } wife brought forth a
Mr. Yoshino, my cousin's } boy last night, I hear.

3. 有名な剣客荒木又右衛門は伊賀の上野で舅の讐を討ちました。

Araki Mataemon, a celebrated swordsman, revenged the death of his father-in-law at Ueno in the province of Iga.

【練 習 題】

530. 昨朝學校へ行く途中で僕の兄の舊友田村氏に出會うた。(44. 山口高商)

學校へ行く途中で—on one's way to school.
舊友—an old friend.

531. 陸軍中將 谷子爵は先月旭日大綬章を授けられたり。

陸軍中將—Lieut.-General. 子爵—Viscount. 先月—ultimo (通常略して ult. と記す)。旭日大綬章—the Grand Cordon of the Rising Sun. 授けらる—decorated with, to be.

532. 海軍省は戦艦河内の模型を皇太子殿下に献上せり。

海軍省—the Naval Department. 戦艦—the battleship. 模型—a model. 皇太子殿下—His Highness the Crown Prince. 献上する—to present.

533. 無線電信機は千八百九十六年伊太利國電氣技師 W. Malconi 氏の發明に係る。(45. 仙臺高工)

無線電信機—the wireless telegraph. 電氣技師—an electric operator.

534. 過日商船學校練習船大成丸に乗込みたる學生は世界を一週して歸るのである。(44. 商船)

過日—the other day. 商船學校—the Mercantile Marine School. 練習船—a training ship. 乗込む—to embark. 世界を一週する—to make a tour round the world.

535. 新任外務大臣楠男爵は昨朝宮中鳳凰の間にて謁見を賜はりたり。

男爵—Baron. 鳳凰の間—the Phoenix Hall. 謁見を賜はる—received in audience by the Emperor, to be.

536. Harvard 大學の新總長 Lowell 博士は詩人 Lowell の甥で、博學多才特に政治學の造詣深く、有名なる著書も多くあります。(42. 東北農)

大學—College. 總長—President. 詩人—poet. 甥—nephew. 博學多才—having wide knowledge and great talents. ...の造詣深し—quite at home on.... 著書—works.

537. 現佛國大統領ポアンカレ氏は從來の大統領よりも一層佛國の爲又三國協商の爲に活動すべきこと疑なきものゝ如し。

佛國大統領—the French President. ポアンカレ—Poincaré. 従來の大統領—his predecessors (意譯)。三國協商—the triple entente. 活動する—to take an active part. 疑なし—undoubted.

[B] 關係代名詞、又は關係副詞を用ふる接續

關係代名詞 who; which; what; that; that which 及關係副詞 when; where; why 等を用ゐて形容詞體を名詞又は代名詞に接續する事が出来る。

而して、斯く形容詞體の接續を受くる名詞又は代名詞を Antecedent と呼びて居るが、此 Antecedent に接續せらるべき形容詞體が説明的の意味を表す時には概して、前述の who 又は whom; which 等を用ひ、又限定的の意味を表す場合には、主として、其代りに that を用ふる。然乍ら、此は唯斯かる趣があると曰ふに止まり、that と who 其他との間に明確なる用法上の區別を立てる事は困難である。

次に關係代名詞が目的格なる時、竝に關係副詞の Antecedent が時を表す場合には、其關係代名詞竝に關係副詞を省略し得るのが通例である。

這般の要領を次の譯例に示す。

【譯 例】

1. 當今市村座に出て居る俳優の多くは前途有望の青年俳優です。

Most of the actors **who** appear at the Ichimuraza Theatre now, are the young ones of great promise.

2. 私の借り様と思つた家は他の人が借りて仕舞ひました。

The house **which** I was going to rent has been taken by somebody else.
that

3. 向方の家は彼兇行が演じられた家で御座います。

That house in front is the one **in which** the terrible crime was committed.
where

4. 一昨日妻君は失はれた彼方が今朝亡くなられたそうです。

That gentleman **whose** wife died the day before yesterday, breathed his last this morning, I hear.

5. 家康が政權を執つて居たのは丁度三百年前の事です。

The times **in which** Iyeyasu was in power }
when }
(that) Iyeyasu was in power in } were
exactly three hundred years ago.

6. 人が皆賞嘆して眺める月は、實は黒い岩の塊に過ぎない。